

無線LAN対応G-EPON宅内側装置(ONU)
BFW7701-BAX
取扱説明書

改訂B 2021年03月
2021年02月

 **住友電気工業株式会社**

ブロードネットワークス事業部

All Rights Reserved

無線 LAN 対応 10G-EPON ONU
BFW7701-BAX

取扱説明書

ご使用前に、「安全にお使いいただくために」をよくお読み
のうえ、正しくお使いください。
お客様に安全に使用していただくための事項です。

Copyright©2021 Sumitomo Electric Industries, LTD.

- 本取扱説明書の内容の一部または全部を許可なしに無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本製品を運用した結果、または本書に記載されている情報から生じた影響については、責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 本書の著作権は、住友電気工業株式会社に帰属しています。

Windows、Windows 10、Windows 8.1、Windows Phone は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

Mac、macOS、OS X、AirMac、iPad、iPhone は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の登録商標または商標です。

iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

Android、Google レンズは、Google LLC の商標または登録商標です。

ニンテンドー DS、ニンテンドー DS Lite は任天堂の登録商標です。

本紙に記載されている製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

本紙では™、®、©などのマークは記載しておりません。

目 次

はじめに.....	3
安全にお使いいただくために.....	3
概 要.....	23
ご使用になる前に.....	24
● 箱の中身を確認してください.....	24
● 各部の名称.....	24
● LED ランプ表示について.....	25
1 本製品を設置する.....	26
2 ネットワーク機器を接続する.....	27
■ IP 電話やパソコンなどを本製品と有線 LAN で接続する.....	27
■ パソコンと本製品を無線 LAN で接続する.....	28
● Windows 10 の場合.....	28
● Windows 8.1 の場合.....	30
● macOS / OS X の場合.....	33
■ スマートフォンなどの携帯端末と本製品を無線 LAN で接続する.....	35
● iPad / iPhone の場合.....	35
● Android 端末の場合.....	38
■ QR コードを利用してスマートフォンなどの携帯端末と本製品を無線 LAN で接続する.....	41
● iPad / iPhone の場合.....	41
● Android 端末の場合.....	42
■ WEP 認証でネットワーク機器と本製品を無線 LAN で接続する.....	43
■ その他の機器と本製品を無線 LAN で接続する.....	47
3 詳細な設定.....	48
■ Web 設定画面で設定する.....	48
● ステータス－端末情報－端末基本情報.....	50
● ステータス－WAN 情報－IP 情報.....	51
● ステータス－LAN 情報－2.4GHz 無線 LAN 情報.....	52
● ステータス－LAN 情報－5GHz 無線 LAN 情報.....	53
● ステータス－LAN 情報－有線 LAN 情報.....	54
● ステータス－LAN 情報－接続端末情報.....	55
● ネットワーク－WAN－WAN 設定.....	56
● ネットワーク－WAN－WAN 詳細設定.....	57
● ネットワーク－LAN－IPv4 設定.....	58
● ネットワーク－LAN－IPv6 設定.....	60

●ネットワークー無線 LAN – 2.4GHz 基本設定.....	61
●ネットワークー無線 LAN – 2.4GHz 詳細設定.....	63
●ネットワークー無線 LAN – 5GHz 基本設定.....	69
●ネットワークー無線 LAN – 5GHz 詳細設定.....	71
●ネットワークー NTP – NTP 設定.....	77
●セキュリティーファイアウォールー IP フィルタリング (送信).....	78
●セキュリティーファイアウォールー IP フィルタリング (受信).....	80
●セキュリティーファイアウォールー MAC フィルタリング.....	82
●セキュリティーファイアウォールーポートフィルタリング.....	83
●セキュリティーファイアウォールーポートフォワーディング.....	84
●セキュリティーファイアウォールーポートトリガー.....	85
●セキュリティーファイアウォールー MAC パススルー.....	86
●セキュリティーファイアウォールー DMZ.....	87
●セキュリティーファイアウォールー IPSec/PPTP パススルー.....	88
●セキュリティー ICMP 制御ー ICMP 制御.....	89
●アプリケーションー NAT – NAT 設定.....	90
●アプリケーションー UPnP – UPnP 設定.....	91
●アプリケーションー IGMP – IGMP 設定.....	92
●アプリケーションー MLD – MLD 設定.....	93
●管理ーアカウント情報ーユーザー情報.....	94
●管理ー保守ー端末設定.....	95
●管理ー保守ーファームウェア更新.....	96
●管理ー保守ー疎通テスト.....	97
●管理ーロガーログ設定.....	98
●管理ーロガーログ管理.....	99
4 メンテナンス.....	100
■ファームウェアの更新.....	100
■本製品の初期化.....	100
●RESET ボタンで初期化する.....	100
●Web 設定画面で初期化する.....	101
■設定値の保存と復元.....	104
●設定値の保存.....	104
●設定値の復元.....	107
5 トラブルシューティング.....	109
6 付録.....	110
■仕様一覧.....	110
GPL・LGPL について.....	111

はじめに

このたびは、無線 LAN 対応 10G-EPON ONU「BFW7701-BAX」(以下、本製品) をご使用いただきましてありがとうございます。

お使いになる前に、本製品の機能を十分にいかして正しくご利用いただくために、この取扱説明書を最後までよくお読みください。

お読みになったあとは、必ず大切に保存してください。

安全にお使いいただくために

本書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくための重要な内容を記載しています。

また、より確実に理解していただくために表示と図記号を添えて表現しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みください。

■表示の説明

 警告	「誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷 ^{*1} を負う可能性のあること」を示します。
 注意	「誤った取り扱いをすると、人が傷害 ^{*2} を負う可能性、または物的損害 ^{*3} のみが発生する可能性のあること」を示します。

*1 重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電をさします。

*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■図記号の説明

	禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	指示する行為の強制(必ずやること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

■ 免責事項について

- 地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求などについて、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

■ 用途限定

本製品は、人の生命に直接かかわる装置^{*1}や人の安全に関与し公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置^{*2}などの制御に使用するよう設計・製造されたものではないため、それらの用途には使用しないでください。

*1：人の生命に直接関わる装置とは、次のものをさします。

- 生命維持装置や手術室用器具などの医療機器
- 有毒ガスなどの排ガス、排煙装置
- 消防法、建築基準法などの各種法令により設置が義務づけられている装置
- 上記に準ずる装置

*2：人の安全に関与し公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置とは、次のものをさします。

- 航空、鉄道、道路、海運などの交通管制装置
- 原子力発電所などの装置
- 上記に準ずる装置

■ Trademarks

本書に記載されている製品名は、一般に各社の商標また登録商標です。本書では™、®、©などのマークは記載していません。

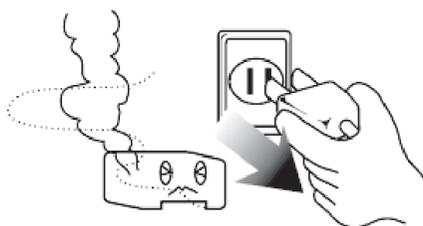
⚠ 警告

製品本体について

- 本製品や AC アダプタ・電源コードから異常な臭いがしたり、過熱・発煙・変色・損傷などがある場合には、ただちに電源コンセントから電源プラグ（AC アダプタ）を抜いて使用を中止してください
 - ・そのまま使うと、火災・故障の原因となります。「保守窓口」へ、点検を依頼してください。



電源プラグを
コンセントから抜く



- 光コネクタの発光部分を直接見ないでください



禁止

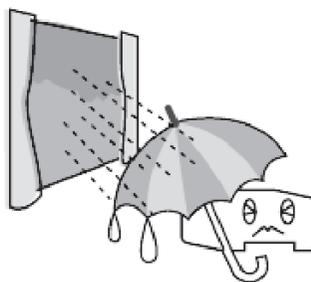
- ・ 本製品はクラス 1 レーザ製品です。直視した場合、目を傷める危険性があります。

- 雨、霧などが直接入り込むような場所では使わないでください

- ・ 雨、霧が付着して、火災、感電および故障の原因となります。



禁止



- 本製品は 0℃～40℃の環境で使用してください



強制指示

- ・ 火災、故障の原因となります。

- 電源コンセントはタコ足配線をしないでください



禁止

- ・ 発火の原因となったり、電源使用量がオーバーしてブレーカーが落ち、他の機器に影響を及ぼす可能性があります。

⚠ 警告

製品本体について

●必ず、本製品付属の AC アダプタを使用してください



強制指示

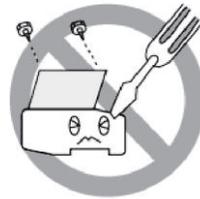
- ・本製品付属以外の AC アダプタでは、電圧や (+) (-) の極性が異なっていることがあるため、火災、破裂、発煙の原因となります。

●お客様ご自身で修理、改造、分解をしないでください

- ・火災、感電、やけど、けがの原因となります。



分解禁止



●小さなお子様の手の届かないところに置いてください



強制指示

- ・ケーブルを首に巻きつけたりして、事故やけが、故障の原因となります。

●内部を開けないでください



禁止

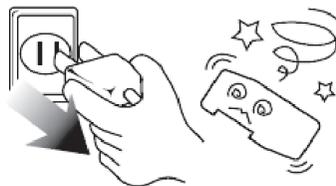
- ・火災、感電、やけど、故障や誤作動の原因となります。

●本製品を落としたり、強い衝撃を与えたときは、ただちに、電源コンセントから電源プラグ (AC アダプタ) を抜いてください

- ・そのまま使うと、火災、発煙の原因となります。「保守窓口」へ、点検を依頼してください。



電源プラグを
コンセントから抜く



⚠ 警告

製品本体について

- ビニール袋などの梱包材料は幼児の手の届かないところに保管してください



強制指示

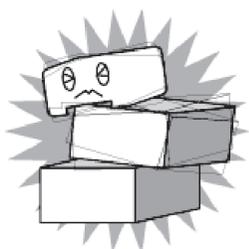
- ・ 口に入れたり、頭からかぶるなどして窒息の原因となります。

- ぐらついた台の上や傾いた場所、振動、衝撃の多い場所など、不安定な場所に置かないでください。また、重ね置きをしないでください

- ・ 落ちたり、倒れたりしてけがおよび故障の原因となります。



禁止



- 本製品の上下に機器の重ね置きをしないでください



禁止

- ・ 各機器の発熱の影響が故障の原因となることがあります。

- 本製品内部にクリップなどの金属やコーヒーなどの液体を入れないでください

- ・ ショートによる火災、発煙および故障の原因となります。
- ・ 万一、入ったときは、ただちに、電源コンセントから電源プラグ（ACアダプタ）を抜いて「保守窓口」へ、点検を依頼してください。



禁止



- LANポートにLAN機器以外は接続しないでください



禁止

- ・ デジタル回線（ISDN）、電話回線などを接続すると火災、発煙および故障の原因となります。

⚠ 警告

AC アダプタについて

● AC コードを電源コンセントに抜き差しするときは、AC コードを持たずに AC アダプタのプラグを持って抜き差ししてください

- AC アダプタのプラグにほこりがついていないことを確認し、根元まで確実に差し込んでください。また、ぐらぐらする電源コンセントは使用しないでください。感電やショートによる発火の原因となることがあります。また、プラグを抜く際、コンセント面に対して真直ぐに抜かないとコンセント内の刃受けばねの接触が弱くなり、やがて接触不良となり、発熱の原因となることがあります。



強制指示



● 付属の AC アダプタを、本製品以外には使用しないでください



禁止

- 火災、感電の原因となります。

● AC100V 以外の電源コンセントには、絶対に AC アダプタを差し込まないでください

- 入力電源条件に適合しない電源コンセントに接続しますと、火災、発煙および故障の原因となります。



強制指示

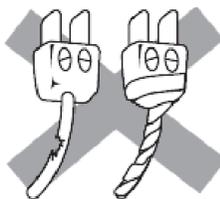


● 傷ついたり、破損したり、加工した電源コードは使わないでください

- 火災、感電、やけどの原因となります。



禁止



警告

AC アダプタについて

●電源コードを取り扱うときは次の点を守ってください

- 傷つけない
- 無理に曲げない
- 物を載せない
- 加工しない
- ねじらない
- 加熱しない
- ドアなどにはさまない
- 机、家具などを載せてつぶさない
- 釘やステープルで固定しない
- コードをつぎ足さない
- 引っ張らない
- 熱器具に近づけない



強制指示

守らないと、火災、感電、やけどの原因となります。

もし、電源コードが傷ついたときは、「保守窓口」へ、点検を依頼してください。

●お客様ご自身で AC アダプタの修理、改造、分解をしないでください



禁止

- 火災、感電、やけど、けがの原因となります。

警告

無線通信について

- 付近に心臓ペースメーカーを装着されている方がいる可能性がある場所では、本製品の電源を切ってください



強制指示

- ・ 電波により、ペースメーカーの動作に影響する恐れがあります。

- 病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは、本製品を使用しないでください
また、医療用電気機器に近づけないでください



強制指示

- ・ 電波の影響で、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。

- 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは、本製品の電源を切ってください



強制指示

- ・ 電波の影響で、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。

- 本製品の使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、本製品の電源を切ってください



強制指示

- ・ 電波の影響で、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。

⚠ 注意

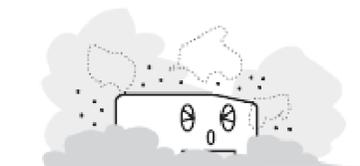
製品本体について

●ほこりの多い場所では使わないでください

- ・ほこりがたまると、ショートによる火災、発煙および故障の原因となります。



禁止

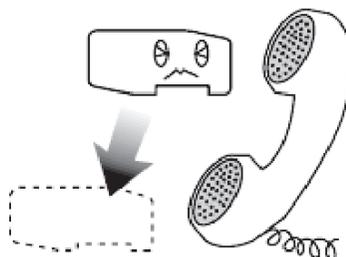


●本製品を移設するときは「保守窓口」にご相談ください

- ・お客様が移設されますとけがをしたり、本製品が壊れたりすることがあります。



強制指示



●近くに雷が発生する恐れがあるときは、ACアダプタおよびLANケーブルを抜いて、ご使用を控えてください



強制指示

- ・故障の原因となります。

●雷が鳴り出したら、ACアダプタや電源コードおよび本製品に触ったり、ケーブルの抜き差しをしないでください



禁止

- ・雷によっては、火災、感電および故障の原因となります。

⚠ 注意

製品本体について

●使用範囲を超えた入力条件で使用しないでください



禁止

- ・機器の使用に定められている定格電源電圧、電気信号、光信号などの入力範囲を超えて使用すると、機器を破損させる原因となります。

●本体を持ち運ぶときは、落とさないように注意して持ち運んでください。電源スイッチを切り、電源プラグを抜き、接続ケーブルをすべてはずしてください



禁止

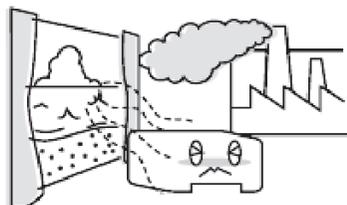
- ・本体とケーブル類に無理な力や衝撃が加わると、本体が落下しけがや故障の原因となります。

●腐食性ガスや塩分を含んだ外気が直接侵入する場所では使わないでください

- ・発煙、故障の原因となります。



禁止

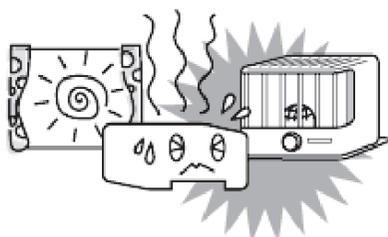


●本製品や AC アダプタに布団をかけたり、直接日光の当たる場所、コタツの中、暖房器具の近くなどの温度の高い場所には置かないでください

- ・本製品内部の温度が上がり火災および故障の原因となります。



禁止



⚠ 注意

製品本体について

- **じゅうたん、布団、毛布、ベッドの上では使用しないでください**
 - ・ 本製品内部の温度が上がり火災および故障の原因となります。

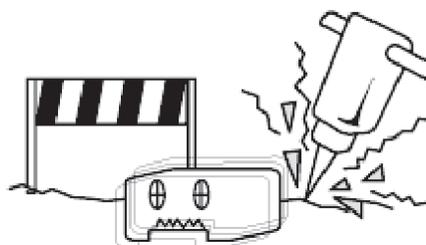


禁 止

- **振動の多い場所に置かないでください**
 - ・ 動いたり、倒れたりしてけがおよび故障の原因となります。



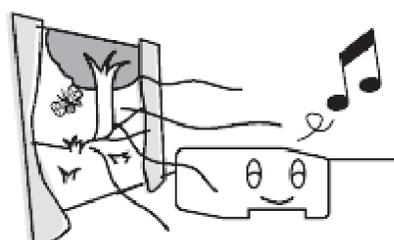
禁 止



- **風通しの良い場所に置いてください**
 - ・ 本製品の通風口をふさいだり、布団や毛布などで包んだり、個装箱やビニール袋に入れたまま使用しないでください。
 - 本製品の発する熱がこもりやすい場所に置くと、本製品内部の温度が上がり火災および故障の原因となります。



強制指示



- **風呂場などの水分や湿気の多い場所、および窓際など結露の恐れのある場所の近くでは使用しないでください**



禁 止

- ・ 水分や水滴などが付着または本製品内部に浸入し、火災、感電および故障の原因となります。

⚠ 注意

製品本体について

● 本製品や電源コードを熱器具に近づけないでください



禁止

- ・ キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災、感電の原因となります。

● 近くに紙などの燃えやすいものを置かないでください



禁止

- ・ 発熱により火災の原因となります。

● 通風口をふさがないように、前後左右および上部を各 10cm 以上あけてください



強制指示

- ・ 本製品の内部に熱がこもり、火災の原因となります。

● 内部を開けないでください



禁止

- ・ 故障や誤動作の原因となります。

● 本製品に乗らないでください。また、小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところに置いてください。本製品には小さな付属品が含まれています。小さなお子様が進んで飲み込んだりしないようにしてください



禁止

- ・ ケーブルを首に巻きつけたりして、事故やけが、故障の原因となります。

● 本製品の上に物を載せたり、物を落としたりしないでください



禁止

- ・ 故障の原因となります。
- ・ 破損して、けがの原因となります。

⚠ 注意

製品本体について

- お手入れをするときは、安全のため必ず電源コンセントから電源プラグ（AC アダプタ）を抜いてください



強制指示

- ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください



禁止

- ・ 変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよく絞って汚れを拭き取り、やわらかい布でから拭きしてください。

- 電源を再投入する場合、必ず電源コンセントから電源プラグ（AC アダプタ）を外した状態で10秒以上おいてから電源を入れてください



強制指示

- ・ 誤動作や故障の原因となることがあります。

- ケーブル類の敷設に配慮してください



禁止

- ・ 光ケーブルは折り曲げたり、無理に引っ張る、ねじるなどしないでください。
- ・ 光ケーブルを曲げる際は、必ず直径60mm以上となるようにしてください。

- 電気製品・AV機器・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください
(電子レンジ、スピーカー、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など)



禁止

- ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると通信できなくなることがあります。
- ・ テレビ画面が乱れることがあります。

- 本製品やACアダプタを樹脂製のものやビニールコーティングされたもの、熱に弱いものの近くに設置しないでください



禁止

- ・ 本製品やACアダプタ、近くに設置したものが変形・変色・損傷する場合があります。

⚠ 注意

製品本体について

● 温度差の大きい場所へ移動させたら、すぐには使用しないでください



禁止

- ・ 本製品を寒い所から急に暖かな所へ移動させたときは、本製品内部に結露が生じ、故障の原因となります。万一結露した場合は、電源を切った状態で放置し、完全に乾燥させてから電源を入れてください。

● 殺虫剤など、揮発性のある薬品をかけないでください



禁止

- ・ 火災や故障の原因となります。

● 屋外には設置しないでください



禁止

- ・ 屋外に設置した場合の動作保証はいたしません。

● 梱包箱やビニール袋に入れたまま使用しないでください



禁止

- ・ 本製品内部の温度が上がり、故障や発火の原因となります。

⚠ 注意

AC アダプタの取り扱いについて

- 電源プラグ（AC アダプタ）を AC100V コンセントに差し込むときは、まっすぐに、奥まで確実に差し込んでください



強制指示

- ・確実に差し込んでいないと、火災、感電の原因となります。

- 長期間ご使用にならないときは、電源プラグ（AC アダプタ）を電源コンセントから抜いてください



強制指示

- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください



禁止

- ・タコ足配線にするとコンセントが過熱し、火災、感電の原因となります。

- 本製品を使用中に AC コードを外さないでください。また、AC コードに足などを引っ掛けないでください



禁止

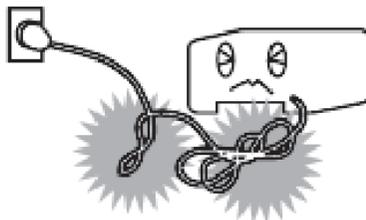
- ・使用中に AC コードが抜けると、設定中の情報を失うことがあります。

- 電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、またコードの上に重い物を載せたりしないでください

- ・ショート、断線による火災、感電の原因となります。



禁止



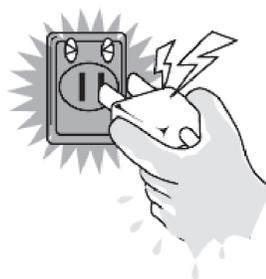
⚠ 注意

AC アダプタの取り扱いについて

- 濡れた手で、電源プラグ（AC アダプタ）を抜き差ししないでください
 - ・ 感電の原因となります。



禁 止



- 半年から 1 年に 1 回は AC コードを電源コンセントから抜いて、点検、清掃を行ってください。プラグにほこりがたまっているときは、すぐに電源コンセントからプラグを抜いて点検、清掃を行ってください



強制指示

- ・ 火災、感電の原因となります。

無線通信の電波に関するご注意

●本製品は、技術基準適合証明を受けています。

本製品の無線通信で使用する周波数帯では、電子レンジなどの産業・化学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1) 本製品の無線通信を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2) 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用周波数を変更するか、または、電波の発射を停止したうえ、混信回避のための処置についてご契約された事業者にご相談ください。
- 3) その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた際は、ご契約された事業者にお問い合わせください。

次の記載は、本製品の IEEE802.11b/g/n 無線通信に関する「2.4GHz 帯の使用・変調方式・想定干渉距離・周波数変更の可否」を表します。

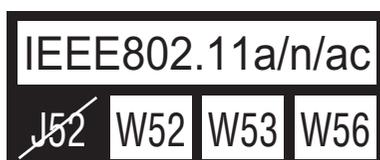
2.4DS/OF4

(表示)	(表示の意味)
2.4	2.4GHz 帯を使用する無線設備を表します。
DS/OF	変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しています。
4	想定干渉距離が 40m 以下を表します。
■■■	全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを表します。

無線通信の電波に関するご注意

- 電子レンジ付近、静電気や電波障害の発生する場所、金属ドアで遮断された部屋などでは、ご使用にならないでください。
 - ・使用環境により、電波が届かない場合があります。
 - ・無線通信の伝播距離や接続速度は、使用環境によって大きく変動します。
- 本製品は、IEEE802.11a/n/ac の 34/38/42/46 チャンネル (J52) での通信には対応していません。
- 本製品を W52、W53 で使用する場合、屋外での使用は法令により禁止されています。(登録局との通信を除く)

次の記載は、本製品の IEEE802.11a/n/ac 無線通信に関する「5.xGHz 帯の対応仕様」を表します。



(表示)	(周波数)	(表示の意味)
J52	5.2GHz 帯	34/38/42/46 チャンネルに未対応
W52	5.2GHz 帯	36/40/44/48 チャンネルに対応
W53	5.3GHz 帯	52/56/60/64 チャンネルに対応
W56	5.6GHz 帯	100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140 チャンネルに対応

無線 LAN のセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意のある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
- メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意のある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピュータウイルスなどを流してデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性が少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、本製品を使用することをお奨めします。本製品の工場出荷状態では WPA2-PSK のセキュリティが設定されています。

・電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

・仕様について

本製品の仕様は、日本国内向けです。
AC100V 以外では使用しないでください。
また、本製品は屋内専用です。

・取り扱いについて

本製品は、特別管理産業廃棄物に該当します。本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

本製品は、「外国為替法及び外国貿易法」に基づく輸出規制品に該当するため、日本国外への輸出に関しては法人・個人を問わず経済産業大臣の許可が必要です。
さらに本製品には、米国輸出管理規制の規制を受けた製品が組み込まれており、米国政府の許可もあわせて必要になります。

本製品は、国外（海外）では使用できません。日本以外の規格に適合しておらず、使用する地域の法令・規格に違反する可能性があります。

概 要

本製品は、10 ギガ FTTH ネットワークに接続する ONU と 10 ギガビットイーサネットおよび無線 LAN に対応するブロードバンドルーターを一体化した宅内端末装置です。

お客様がお持ちのパソコン・スマートフォン・タブレットなどの機器を有線 LAN または無線 LAN で本製品に接続することにより、FTTH 回線を経由した快適なデータ通信が可能となります。

用語説明

FTTH (Fiber To The Home)

光ファイバーを住宅に直接引き込んで提供する家庭向けデータ通信サービス。

ONU (Optical Network Unit)

光通信において加入者側に設置し、センターからの光信号を電気信号に変換して LAN と接続する光回線終端装置。

ご使用になる前に

箱の中身を確認してください

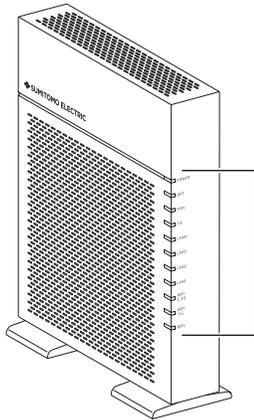
以下のものを受け取られたかご確認ください。万一、不足しているものや破損しているものがありましたら、ご契約されたケーブルテレビ事業者へご連絡ください。

- | | | | |
|------------------|-----|----------------|-----|
| • BFW7701-BAX 本体 | 1 台 | • ファイバーカバー用ネジ | 1 本 |
| • AC アダプタ | 1 台 | (特殊ネジ, 黒または銀色) | |
| • かんたん接続ガイド | 1 枚 | • ファイバーカバー用ネジ | 1 本 |
| • ご利用にあたっての注意事項 | 1 冊 | (特殊ネジ, 金色) | |
| • シリアルナンバーラベル | 1 枚 | | |
| (4 枚つづり) | | | |

※同梱品はケーブルテレビ事業者によって異なる場合があります。

各部の名称

【前面】



LEDランプ

動作状態を表示します。(☞ 25 ページ「LED ランプ表示について」参照)

【背面】

WPSボタン

3秒以上押し続けて離すと、WPS機能で接続を試みます。

RESETボタン

本製品を再起動します。6秒以上押し続けると、工場出荷状態(初期化)に戻ります。(☞ 100ページ参照)

TAポート【電話用】

IP電話アダプタなどを接続します。

LANポート2~4

ネットワーク機器との有線LAN接続に使用します。

LANポート1【10G】

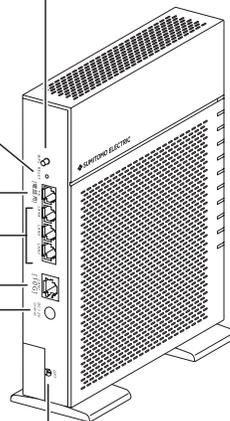
高速通信が必要なネットワーク機器との有線LAN接続に使用します。

電源ポート(DC12V)

付属のACアダプタを接続します。
※付属のACアダプタ以外は接続しないでください。

光ファイバー導入口

光ファイバーコードを装置内に引き込みます。



LED ランプ表示について

本製品の前面には、インジケータとして 11 種類の状態表示ランプ (LED) がついています。各ランプ (LED) の意味は以下のとおりです。

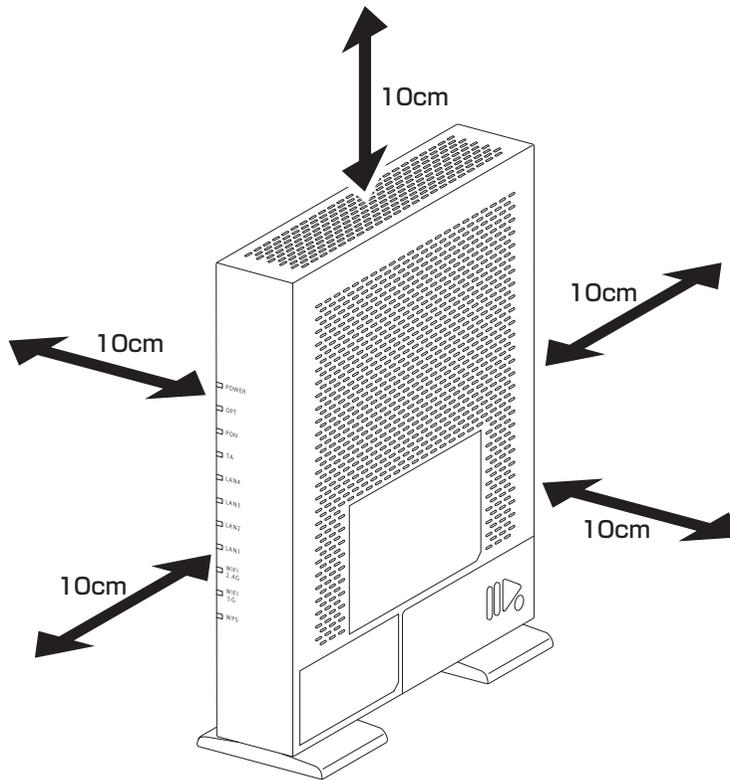
名称	状態 (色)	意味
POWER [パワー]	点灯 (緑)	AC アダプタから電力が供給され、正常に動作しているとき
	点滅 (緑)	IP アドレスを取得している、またはファームウェアをアップデートしているとき
	消灯	AC アダプタから電力が供給されていないとき
OPT [オプト]	点灯 (緑)	光ファイバーから信号を正常に受信しているとき
	点灯 (赤)	光ファイバーから信号を正常に受信していないとき
PON [ボン]	点灯 (緑)	光ネットワークが正常に動作しているとき
	点滅 (緑)	光ネットワークが準備中のとき
	点灯 (赤)	光ファイバーから信号を正常に受信していないとき
TA [ティーエー]	点灯 (緑)	IP 電話アダプタが接続されているとき
	点滅 (緑)	IP 電話アダプタが通信しているとき
	消灯	IP 電話アダプタが接続されていないとき
LAN1 ~ 4 [ラン 1 ~ 4]	点灯 / 点滅 (緑)	ネットワーク機器と有線 LAN で接続されているとき
	消灯	ネットワーク機器と有線 LAN で接続されていないか、ネットワーク機器側で通信の準備ができていないとき
WiFi 2.4G [ワイファイ 2.4 ジー]	点灯 (緑)	無線 LAN (2.4GHz 帯 : IEEE802.11n/g/b) が使用可能なとき
	点滅 (緑)	無線 LAN (2.4GHz 帯 : IEEE802.11n/g/b) が通信しているとき
	消灯	無線 LAN (2.4GHz 帯 : IEEE802.11n/g/b) が使用できないとき
WiFi 5G [ワイファイ 5 ジー]	点灯 (緑)	無線 LAN (5GHz 帯 : IEEE802.11n/a/ac) が使用可能なとき
	点滅 (緑)	無線 LAN (5GHz 帯 : IEEE802.11n/a/ac) が通信しているとき
	消灯	無線 LAN (5GHz 帯 : IEEE802.11n/a/ac) が使用できないとき
WPS [ダブルピーエス]	点灯 (緑)	WPS 機能が使用可能なとき
	点滅 (緑)	WPS 機能を使用して無線 LAN 機器の登録を試みているとき
	消灯	WPS 機能が使用できないとき

1 本製品を設置する

本製品は縦置き専用です。過熱を避けるために、設置面以外は少なくとも 10cm 以上の空間を作るようにしてください。また空間を作った場合でも、本製品全体を覆うような形での設置はおやめください。

横置きや壁掛け設置によるご使用は避けてください。

その他設置についての注意事項は、[P.3](#) ページ「安全にお使いいただくために」を参照してください。

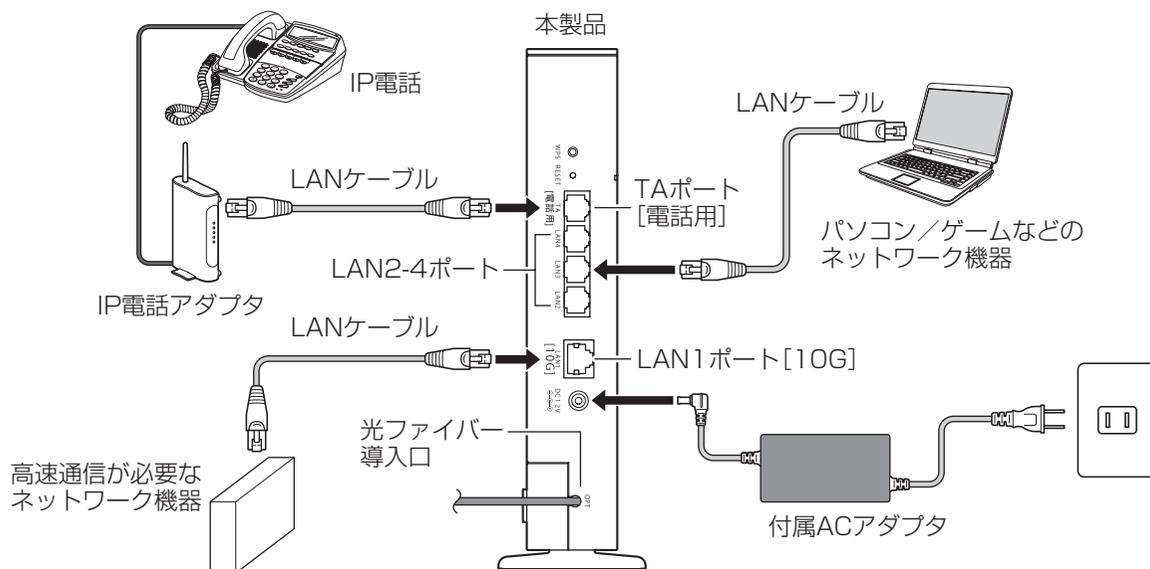


2 ネットワーク機器を接続する

■ IP 電話やパソコンなどを本製品と有線 LAN で接続する

IP 電話などを TA ポートに、パソコン/ゲームなどのネットワーク機器を LAN1 ～ 4 ポートに接続します。なお、高速通信が必要なネットワーク機器は LAN1 ポート [10G] に接続します。

【接続構成例】



- LAN2～4およびTAポートに接続するLANケーブルはカテゴリ5e以上をご使用ください。
- LAN1 ポートに接続するLANケーブルはカテゴリ6以上を推奨します。
- 接続するネットワーク機器は、IPアドレス、DNSサーバーアドレスを自動（DHCP）で取得するように設定してください。

■ パソコンと本製品を無線 LAN で接続する

Windows 10 の場合

- 1 タスクトレイ（デスクトップ右下）の「ネットワーク」アイコンをタップまたはクリックします。



※「ネットワーク」アイコンは、△ [隠れているインジケータを表示します] ボタンの中に隠れている場合があります。

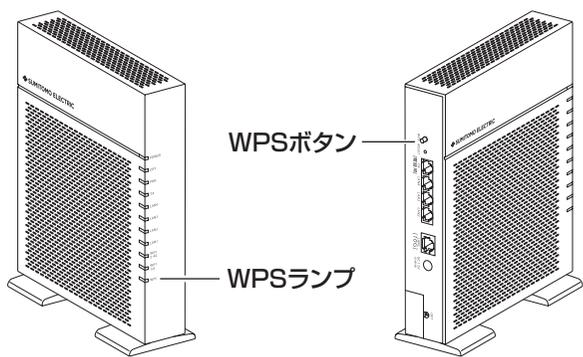
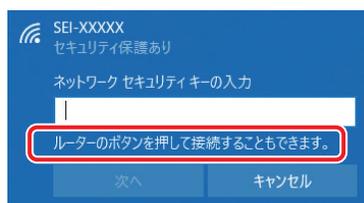
- 2 表示されたワイヤレスネットワークの一覧から、接続するネットワーク SSID を選択し、「接続」をタップまたはクリックします。
本製品のネットワーク SSID は、本製品の側面にあるラベルに記載されている「SSID」をご確認ください。



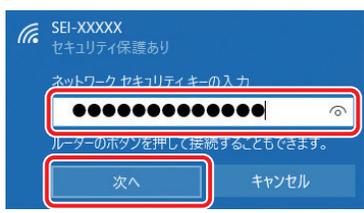
※お客様でネットワーク SSID を設定された場合は、設定内容をご確認ください。

- 3 ネットワークセキュリティキーを入力する画面が表示されます。
その際、本製品の「WPS ボタン」を押して接続する方法 (4a) と、セキュリティキーを入力する方法 (4b) と 2 種類あります。

- 4a 表示された画面に「ルーターのボタンを押して接続することもできます。」の記述があれば、この状態で、本製品の「WPS ボタン」を押すことで接続することができます。WPS ボタンを3秒以上押し続け、その後、ボタンから指を離すと WPS 機能が動作します。WPS 動作中は、本製品前面の「WPS」ランプが点滅します。



- 4b 本製品の側面にあるラベルに記載されている「PASSKEY」を入力して「次へ」をタップまたはクリックします。



※PASSKEY の入力では、大文字・小文字にご注意ください。
 ※お客様で PASSKEY を設定された場合は、設定内容が反映されます。

- 5 ネットワーク SSID に、「接続済み」と表示されていれば接続完了です。



Windows 8.1 の場合

- 1 スタート画面の右端から内側にスワイプし、「設定」をタップします。マウスを使用している場合は、画面の右隅をポイントし、「設定」をクリックします。次に、「ネットワーク」アイコンをタップまたはクリックします。



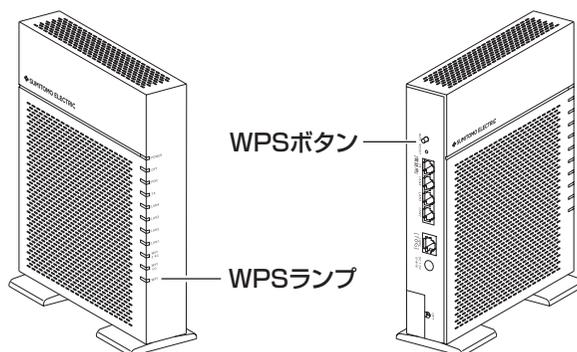
- 2 表示されたワイヤレスネットワークの一覧から、接続するネットワーク SSID を選択し、「接続」をタップまたはクリックします。本製品のネットワーク SSID は、本製品の側面にあるラベルに記載されている「SSID」をご確認ください。



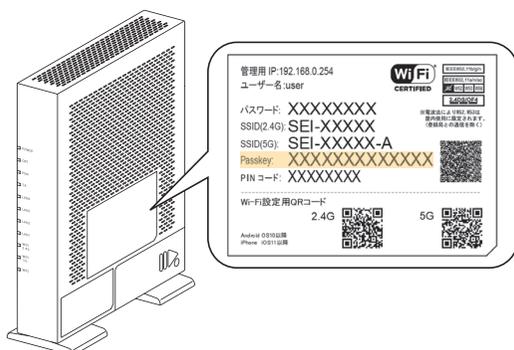
※お客様でネットワーク SSID を設定された場合は、設定内容をご確認ください。

- 3 ネットワークセキュリティキーを入力する画面が表示されます。その際、本製品の「WPS ボタン」を押して接続する方法 (4a) と、セキュリティキーを入力する方法 (4b) と 2 種類あります。

- 4a 表示された画面に「ルーターのボタンを押しても接続できます。」の記述があれば、この状態で、本製品の「WPS ボタン」を押すことで接続することができます。
WPS ボタンを3秒以上押し続け、その後、ボタンから指を離すと WPS 機能が動作します。
WPS 動作中は、本製品前面の「WPS」ランプが点滅します。



- 4b 本製品の側面にあるラベルに記載されている「PASSKEY」を入力して「次へ」をタップまたはクリックします。



※ PASSKEY の入力では、大文字・小文字にご注意ください。

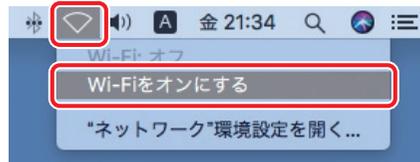
※ お客様で PASSKEY を設定された場合は、設定内容が反映されます。

- 5 プリンターや TVなどを自動的に接続する場合は、「はい」をタップまたはクリックします。
ネットワーク SSID に、「接続済み」と表示されていれば接続完了です。



macOS / OS X の場合

- 1 デスクトップ右上の「無線」アイコンをクリックし、「Wi-Fi をオンにする」をクリックして、無線 LAN を有効にします。

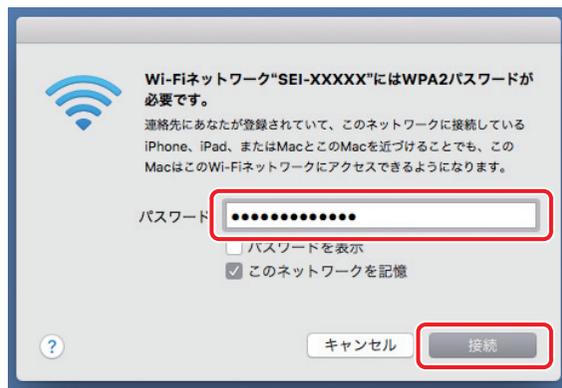


- 2 デスクトップ右上の「無線」アイコンをクリックし、表示されたワイヤレスネットワークのリストから、接続するネットワーク SSID をクリックします。
本製品のネットワーク SSID は、本製品の側面にあるラベルに記載されている「SSID」をご確認ください。



※ お客様でネットワーク SSID を設定された場合は、設定内容をご確認ください。

- 3 パスワードを入力する画面が表示されます。
本製品の側面にあるラベルに記載されている「PASSKEY」を入力して、「このネットワークを記憶」にチェックが入った状態で「接続」をクリックします。



※PASSKEYの入力では、大文字・小文字にご注意ください。
※お客様でPASSKEYを設定された場合は、設定内容が反映されます。

- 4 デスクトップ右上の「無線」アイコンをクリックし、SSIDの前にチェックマークが表示されていれば接続完了です。



※端末のOSバージョンにより画面が多少異なる場合があります。

■ スマートフォンなどの携帯端末と本製品を無線 LAN で接続する

iPad / iPhone の場合

- 1 画面上の「設定」アイコンをタップします。



- 2 設定項目の「Wi-Fi」をタップして、ワイヤレスネットワークを選択する一覧から、接続するネットワーク SSID をタップします。
本製品のネットワーク SSID は、本製品の側面にあるラベルに記載されている「SSID」をご確認ください。



※「Wi-Fi」が OFF (オフ) の場合は、ON (オン) にしてください。

※お客様でネットワーク SSID を設定された場合は、設定内容をご確認ください。

- 3 パスワードを入力する画面が表示されます。
本製品の側面にあるラベルに記載されている「PASSKEY」を入力して「接続」または「Join」をタップします。



- ※PASSKEYの入力では大文字・小文字にご注意ください。
- ※お客様でPASSKEYを設定された場合は、設定内容が反映されます。

4 SSID の前にチェックマークが表示されていれば接続完了です。



※ SSID の右にある ⓘ ボタンをタップするとアドレスの取得内容が確認できます。

※ 端末の OS バージョンにより画面が多少異なる場合があります。

Android 端末の場合

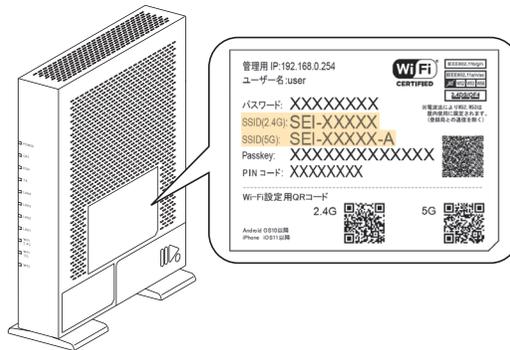
- 1 画面上の「設定」アイコンをタップします。



- 2 「無線とネットワーク」をタップします。



- 3 次に「Wi-Fi」をタップして、表示されたワイヤレスネットワークの一覧から、接続するネットワーク SSID をタップします。
本製品のネットワーク SSID は、本製品の側面にあるラベルに記載されている「SSID」をご確認ください。



※「Wi-Fi」が OFF（オフ）の場合は、ON（オン）にしてください。

※お客様でネットワーク SSID を設定された場合は、設定内容をご確認ください。

- 4 パスワードを入力する画面が表示されます。
本製品の側面にあるラベルに記載されている「PASSKEY」を入力して「接続」をタップします。



- ※PASSKEYの入力では、大文字・小文字にご注意ください。
- ※お客様でPASSKEYを設定された場合は、設定内容が反映されます。

5 SSID の下に「接続済み」と表示されていれば接続完了です。



※「SSID」をタップすると接続状況の詳細が確認できます。

※端末のOSバージョン、発売メーカーにより画面が多少異なることがあります。

■ QRコードを利用してスマートフォンなどの携帯端末と本製品を無線LANで接続する

iPad / iPhone の場合

- 1 iOS/iPadOS 端末のカメラを起動し、カメラビュー画面で、本製品の側面にあるラベルから「Wi-Fi 設定用 QR コード」を読み取ります。



- 2 ポップアップされた確認画面で「接続」または「Join」をタップします。
- 3 設定項目の「Wi-Fi」をタップして SSID の前にチェックマークが表示されていれば接続完了です。
本製品のネットワーク SSID は、本製品の側面にあるラベルに記載されている「SSID」をご確認ください。

Android 端末の場合

- 1 Android 端末で QR コード読み取りアプリ（Google レンズ等）を起動し、カメラビュー画面で、本製品の側面にあるラベルから「Wi-Fi 設定用 QR コード」を読み取ります。



- 2 ポップアップされた確認画面で「ネットワークに参加」あるいは「接続」等をタップします。
- 3 設定項目の「Wi-Fi」をタップして SSID の下に「接続済み」が表示されていれば接続完了です。
本製品のネットワーク SSID は、本製品の側面にあるラベルに記載されている「SSID」をご確認ください。

■ WEP 認証でネットワーク機器と本製品を無線 LAN で接続する

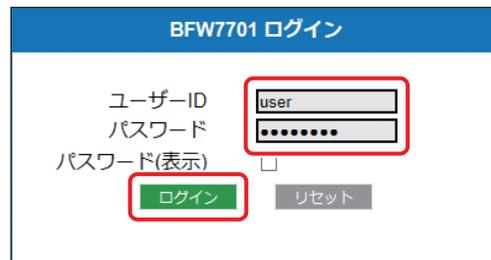
接続する機器の無線認証が WEP 方式のみに対応している場合（ニンテンドー DS/DS Lite など）、本製品に別途 WEP の設定が必要になります。以下の手順では、新たに有効にした 2.4GHz 帯の SSID セカンダリ 1 に設定する手順を説明しています。

（本製品の工場出荷状態は、WEP 認証が無効になっています。）

- 1 本製品とパソコンを有線 LAN で接続した状態で、Microsoft Edge などの Web ブラウザを起動して、Web ブラウザのアドレスバーに「192.168.0.254」（本製品の管理用 IP アドレス）を入力し、キーボードの ENTER キーまたは Web ブラウザのアクセスボタンをクリックします。



- 2 BFW7701 ログイン画面が表示されます。ユーザー ID 入力欄に「user」を、パスワード入力欄に本製品の側面にあるラベルに記載されている「パスワード」を入力し、「ログイン」をクリックします。



※お客様でユーザー ID とパスワードを設定された場合は、設定内容が反映されます。

※「ユーザー ID」、「パスワード」の工場出荷時の初期値は、本製品の側面にあるラベルに記載されている「ユーザー名」と「パスワード」をご確認ください。



3 表示された設定画面の上側メニュー「ネットワーク」をクリックします。



4 表示された設定画面の左側メニュー「無線 LAN」－「2.4GHz 基本設定」をクリックします。



5 SSID セカンダリ 1 (SEI-XXXXX-2) で「有効」を選択し、「保存 / 適用」をクリックします。



6 左側メニュー「2.4GHz 詳細設定」をクリックします。

The screenshot shows the router's configuration interface. The left sidebar menu has the following items: WAN, LAN, 無線LAN, 2.4GHz基本設定, 2.4GHz詳細設定 (highlighted with a red box), and 5GHz基本設定. The main content area shows the '2.4GHz 詳細設定' page with a breadcrumb trail: ネットワーク > 無線LAN > 2.4GHz詳細設定. The configuration table is as follows:

2.4GHz詳細設定	
SSID選択	SEI-XXXXX
接続状態	有効
SSID認証方法	オープン

7 SSID 選択で「SEI-XXXXX-2」を選択し、SSID 認証方式で「WEP」を、暗号化長で「64-bit」または「128-bit」を選択します。

This is a close-up of the '2.4GHz 詳細設定' page. The following options are highlighted with red boxes:

2.4GHz詳細設定	
SSID選択	SEI-XXXXX-2
接続状態	有効
SSID認証方法	WEP
暗号化長	64-bit
現在のネットワークキーインデックス	1

※画面例は「64-bit」を選択した場合。

8 使用するネットワークキーインデックスを選択し、「保存 / 適用」をクリックします。

This is another close-up of the '2.4GHz 詳細設定' page. The '現在のネットワークキーインデックス' dropdown is set to '1' and is highlighted with a red box. Below the main settings, the 'WMMAPSD' option is set to '有効'. At the bottom, the '保存/適用' button is highlighted with a red box.

2.4GHz詳細設定	
SSID選択	SEI-XXXXX-2
接続状態	有効
SSID認証方法	WEP
暗号化長	64-bit
現在のネットワークキーインデックス	1
ネットワークキー-1	1234567890

WMMAPSD	有効
---------	----

保存/適用

※画面例は「1」を選択した場合。

●ネットワークキーについて

ネットワークキー 1 ～ 4 は、任意の文字列に変更することができます。

ネットワークキー-1	1234567890
ネットワークキー-2	1234567890
ネットワークキー-3	1234567890
ネットワークキー-4	1234567890

※ネットワークキーの文字形式は「ASCII」と「Hex」の両方に対応しており、入力された文字数で自動判別します。

※手順7で選択した暗号化長に合わせて入力します。

・「64bit」を選択した場合：

ASCII では半角英数字 5 文字、Hex では半角英数字 16 進数 10 文字で入力します。

・「128-bit」を選択した場合：

ASCII では半角英数字 13 文字、Hex では半角英数字 16 進数 26 文字で入力します。

9 接続する無線機器に「SSID」と「ネットワークキー」をそれぞれ設定すれば完了です。

※具体的な設定方法や接続確認方法およびトラブルシューティングなどは、接続する無線機器の取扱説明書の内容に従ってください。

設定中に「タイムアウトしました。再ログインボタンを押して、再度ログインして下さい。」と画面に表示された場合は、「再ログイン」ボタンをクリックしてください。ログイン画面が表示されますので、「ユーザー ID」と「パスワード」を入力し、「ログイン」をクリックしてログインしてください。

■ その他の機器と本製品を無線 LAN で接続する

本製品の側面ラベルにある「SSID」、「PASSKEY」を確認してください。（お客様で設定された場合は、設定後の値が有効になります）

詳細な接続方法については、接続するネットワーク機器の取扱説明書に従ってください。



3 詳細な設定

本製品の詳細な設定の確認・変更は、Web ブラウザ（Microsoft Edge など）を使って Web 設定画面から行います。

※工場出荷時の初期値でご使用になることができます。その場合は詳細な設定での操作は必要ありません。

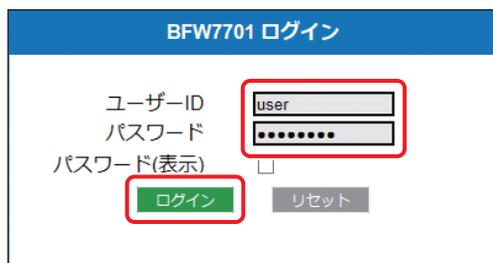
■ Web 設定画面で設定する

- 1 本製品とパソコンを接続した状態で、Microsoft Edge などの Web ブラウザを起動して、Web ブラウザのアドレスバーに「192.168.0.254」（本製品の管理用 IP アドレス）を入力し、キーボードの ENTER キーまたは Web ブラウザのアクセスボタンをクリックします。



※お客様で管理用 IP アドレスを設定された場合は、設定内容が反映されます。

- 2 BFW7701 ログイン画面が表示されます。ユーザー ID 入力欄に「user」を、パスワード入力欄に本製品の側面にあるラベルに記載されている「パスワード」を入力し、「ログイン」をクリックします。



※お客様でユーザー ID とパスワードを設定された場合は、設定内容が反映されます。

※「ユーザー ID」、「パスワード」の工場出荷時の初期値は、本製品の側面にあるラベルに記載されている「ユーザー名」と「パスワード」をご確認ください。



- 3 端末基本情報が表示されます。画面上側のメニューをクリックすると、画面左側にサブメニュー、画面右側に詳細画面が表示されます。



メニュー項目	サブメニュー項目	内 容
ステータス	端末情報	端末基本情報を表示します。
	WAN 情報	WAN 側ネットワークの情報を表示します。
	LAN 情報	LAN 側ネットワークの情報を表示します。 2.4GHz 無線 LAN 情報、5GHz 無線 LAN 情報、有線 LAN 情報、接続端末情報など
ネットワーク	WAN	WAN 側ネットワークに関する設定を行います。 ルーター/ブリッジモード選択、IP 接続モードなど
	LAN	LAN 側ネットワークに関する設定を行います。 IPv4 設定、IPv6 設定など
	無線 LAN	無線 LAN 側ネットワークに関する設定を行います。 基本設定、詳細設定、セキュリティ設定、WPS 設定など
	NTP	NTP に関する設定を行います。
セキュリティ	ファイアウォール	ファイアウォール機能に関する設定を行います。 フィルタリング、ポートフォワーディング、ポートトリガー、MAC パススルー、DMZ、IPSec/PPTP パススルーなど
	ICMP 制御	ICMP 制御に関する設定を行います。
アプリケーション	NAT	NAT 機能に関する設定を行います。
	UPnP	UPnP 機能に関する設定を行います。
	IGMP	IGMP 機能に関する設定を行います。
	MLD	MLD 機能に関する設定を行います。
管理	アカウント情報	アカウント情報に関する設定を行います。
	保守	保守に関する設定を行います。 設定初期化、端末の再起動、設定ファイルの保存・復元、ファームウェア更新、疎通テストなど
	ログ	ログ機能に関する設定を行います。 ログ機能の有効/無効設定、ログの表示など

- 4 変更した設定を保存するには、各項目にある「保存 / 適用」をクリックします。

※「保存 / 適用」をクリックしないまま、次の設定項目の設定を行った場合は前の設定項目の変更内容は保存されません。

※次ページからの Web 設定画面の説明では「保存 / 適用」の説明は省略させていただきます。

ステータス－端末情報－端末基本情報

本製品の装置情報や設定内容を表示します。

システム情報	
端末名	BFW7701-BAX
シリアル番号	8F76666666666666
ONU MACアドレス	88-0000-0000-0000
WAN MACアドレス	
ハードウェアバージョン	A00
ソフトウェアバージョン	V2.0.L3
ソフトウェア更新日	1970-01-01 00:42:26
起動時間	00:34:41

NTP情報	
前回同期時刻	1970-01-01 00:34:40
NTPサーバー情報	ntp.nict.jp

以下の情報が表示されます。

◆ 端末基本情報

システム情報

- ① 端末名
- ② シリアル番号
- ③ ONU MAC アドレス
- ④ WAN MAC アドレス
- ⑤ ハードウェアバージョン
- ⑥ ソフトウェアバージョン
- ⑦ ソフトウェア更新日
- ⑧ 起動時間

NTP 情報

- ⑨ 前回同期時刻
- ⑩ NTP サーバー情報

ステータス－WAN 情報－IP 情報

本製品の IP 情報を表示します。

IPv4 情報		
WAN側IPv4接続タイプ	DHCP	①
IPv4アドレス		②
サブネットマスク		③
デフォルトゲートウェイ		④
DNS(プライマリ)		⑤
DNS(セカンダリ)		⑥
ルーター/ブリッジモード	ルーター	⑦
IGMP	有効	⑧
NAT	有効	⑨
ファイアウォール	有効	⑩
WAN接続状態	切断	⑪

IPv6 情報		
IPv6アドレス(グローバル)		⑫
IPv6アドレス(リンクローカル)	fe80::ca4e3fff:fe50:270	⑬
プレフィックス		⑭
デフォルトゲートウェイ		⑮
DNS(プライマリ)		⑯
DNS(セカンダリ)		⑰
MLD	有効	⑱

以下の情報が表示されます。

◆ IP 情報

IPv4 情報

- ① WAN 側 IPv4 接続タイプ
- ② IPv4 アドレス
- ③ サブネットマスク
- ④ デフォルトゲートウェイ
- ⑤ DNS (プライマリ)
- ⑥ DNS (セカンダリ)
- ⑦ ルーター / ブリッジモード
- ⑧ IGMP
- ⑨ NAT
- ⑩ ファイアウォール
- ⑪ WAN 接続状態

IPv6 情報

- ⑫ IPv6 アドレス (グローバル)
- ⑬ IPv6 アドレス (リンクローカル)
- ⑭ プレフィックス
- ⑮ デフォルトゲートウェイ
- ⑯ DNS (プライマリ)
- ⑰ DNS (セカンダリ)
- ⑱ MLD

ステータス－ LAN 情報－ 2.4GHz 無線 LAN 情報

本製品の 2.4GHz 無線 LAN 情報を表示します。



以下の情報が表示されます。

◆ 2.4GHz 無線 LAN 情報

2.4GHz 無線 LAN 情報

- ① SSID
情報を表示したい SSID を選択します。
- ② SSID 認証方法
- ③ 接続状態
- ④ ワイヤレス動作モード
- ⑤ SSID ブロードキャスト
- ⑥ 無線 LAN 端末間通信禁止
- ⑦ WMF 有効
- ⑧ チャンネル
- ⑨ 周波数
- ⑩ Xpress™ Technology
- ⑪ 送信パワー
- ⑫ WMM (Wi-Fi マルチメディア)
- ⑬ WMM No-Acknowledgement
- ⑭ WMMAPSD
- ⑮ BeamForming

2.4GHz 無線 LAN 情報(パケット統計情報)

- ⑯ バイト
- ⑰ パケット
- ⑱ エラー
- ⑲ 失敗

ステータス - LAN 情報 - 5GHz 無線 LAN 情報

本製品の 5GHz 無線 LAN 情報を表示します。



以下の情報が表示されます。

◆ 5GHz 無線 LAN 情報

5GHz 無線 LAN 情報

- ① SSID
情報を表示したい SSID を選択します。
- ② SSID 認証方法
- ③ 接続状態
- ④ ワイヤレス動作モード
- ⑤ SSID ブロードキャスト
- ⑥ 無線 LAN 端末間通信禁止
- ⑦ WMF 有効
- ⑧ チャンネル
- ⑨ 周波数
- ⑩ Xpress™ Technology
- ⑪ 送信パワー
- ⑫ WMM (Wi-Fi マルチメディア)
- ⑬ WMM No-Acknowledgement
- ⑭ WMMAPSD
- ⑮ MU-MIMO
- ⑯ BeamForming

5GHz 無線 LAN 情報 (パケット統計情報)

- ⑰ バイト
- ⑱ パケット
- ⑲ エラー
- ⑳ 失敗

ステータス－LAN 情報－有線 LAN 情報

本製品の有線 LAN 情報を表示します。



有線 LAN 情報

IPv4 情報

IPv4 アドレス	192.168.0.254
サブネットマスク	255.255.255.0
MAC アドレス	88-7e-67-88-67-88

IPv6 情報

IPv6 アドレス (グローバル)	fe80::1
IPv6 アドレス (リンクローカル)	fe80::1/64
プレフィックス	

送受信パケット統計情報

	受信/送信			
	バイト	パケット	エラー	失敗
LAN1	2338015/57552654	18458/46804	0/0	0/0
LAN2	0/0	0/0	0/0	0/0
LAN3	0/0	0/0	0/0	0/0
LAN4	0/0	0/0	0/0	0/0
TA	0/0	0/0	0/0	0/0

以下の情報が表示されます。

◆有線 LAN 情報

IPv4 情報

- ① IPv4 アドレス
- ② サブネットマスク
- ③ MAC アドレス

IPv6 情報

- ④ IPv6 アドレス (グローバル)
- ⑤ IPv6 アドレス (リンクローカル)
- ⑥ プレフィックス

送受信パケット統計情報

- ⑦ LAN1 ~ LAN4
- ⑧ TA

ステータス－LAN 情報－接続端末情報

本製品に接続している端末の情報を表示します。

The screenshot shows the Sumitomo Electric web interface. The main menu includes 'ステータス' (Status), 'ネットワーク' (Network), 'セキュリティ' (Security), 'アプリケーション' (Application), and '管理' (Management). The left sidebar has '端末情報' (Terminal Information), 'WAN情報' (WAN Information), 'LAN情報' (LAN Information), and '接続端末情報' (Connection Terminal Information). The 'LAN情報' section is expanded, showing '接続端末数' (Connection Terminal Count) with '有線LAN接続端末数' (Wired LAN Connection Terminal Count) at 1 and '無線LAN接続端末数' (Wireless LAN Connection Terminal Count) at 0. Below this is a table titled '接続端末情報一覧' (Connection Terminal Information List) with columns for 'ホスト名' (Host Name), 'IPv4アドレス' (IPv4 Address), 'MACアドレス' (MAC Address), 'リース時間' (Lease Time), and '接続方法' (Connection Method). The table contains one entry: Host Name: 192.168.0.10, IPv4 Address: 192.168.0.10, MAC Address: 00:0c:29:12:00:00, Lease Time: 22:32:22, Connection Method: LAN. There are also notes at the bottom regarding lease time display and IPv6 host name display.

接続端末数				
有線LAN接続端末数	1			
無線LAN接続端末数	0			

接続端末情報一覧				
ホスト名	IPv4アドレス	MACアドレス	リース時間	接続方法
192.168.0.10	192.168.0.10	00:0c:29:12:00:00	22:32:22	LAN

以下の情報が表示されます。

◆ 接続端末情報

接続端末数

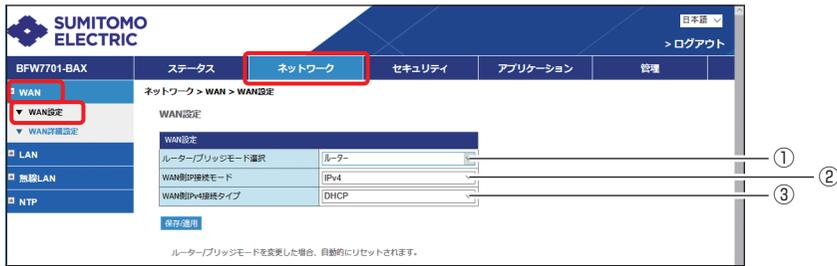
- ① 有線 LAN 接続端末数
- ② 無線 LAN 接続端末数

接続端末情報一覧

- ③ LAN 側に接続されている IPv4 端末のホスト名、IPv4 アドレス、MAC アドレス、リース時間、接続方法のリストを表示します。

ネットワーク - WAN - WAN 設定

本製品の WAN 設定をします。



◆ WAN 設定

WAN 設定

① ルーター / ブリッジモード選択 (初期値：ルーター)

本製品を使用するモードを選択します。変更した場合、自動的にリセットされます。

- ・ ルーター
- ・ ブリッジ (無線 LAN 無効)

② WAN 側 IP 接続モード (初期値：IPv4)

WAN 側の IP 接続モードを選択します。

- ・ IPv4
- ・ IPv4/IPv6

③ WAN 側 IPv4 接続タイプ (初期値：DHCP)

WAN 側の IPv4 接続タイプを選択します。

- ・ DHCP
- ・ スタティック

ネットワーク - WAN - WAN 詳細設定



◆ WAN 詳細設定

DHCP 設定 (ルーターモード)

- ① MTU (初期値 : 1500)
- ② NAT

ネットワーク - LAN - IPv4 設定

本製品の IPv4 設定をします。

The screenshot shows the IPv4 configuration page for device BFW7701-BAX. The left sidebar has 'LAN' and 'IPv4設定' highlighted. The main area is titled 'IPv4' and contains the following fields:

- ① ゲートウェイアドレス: 192.168.0.254
- ② サブネットマスク: 255.255.255.0
- ③ DHCPサーバー: 有効
- ④ DHCPサーバー払い出しアドレス: 192.168.0.10
- ⑤ 終了アドレス: 192.168.0.250
- ⑥ リース時間: 1日
- ⑦ DHCPサーバー: 自動
- ⑧ IPv4アドレス予約:
- ⑨ IPv4アドレス (xxxxx): [text field]
- ⑩ MACアドレス (xxxxxxxxxxxx): [text field]

Buttons for '保存/適用' and '追加' are visible. A note at the bottom states: '注意: IPv4設定を変更した場合、本端末は自動的にリセットされます。' and another note states: '注意: IPアドレスとMACアドレスは最大10まで登録可能です。'

◆ IPv4

IPv4

① ゲートウェイ IP アドレス (初期値: 192.168.0.254)

DHCP サーバが提供するデフォルトゲートウェイの IP アドレスを設定します。

② サブネットマスク (初期値: 255.255.255.0)

本製品のサブネットマスクを設定します。

③ DHCP サーバー (初期値: 有効)

DHCP サーバを動作させ IP アドレス、サブネットマスクなどの設定に必要な情報を提供します。

- ・ 有効
- ・ 無効

DHCP サーバー払い出しアドレス

④ 開始 IP アドレス (初期値: 192.168.0.10)

DHCP サーバが提供する IP アドレスの開始アドレスを設定します。

⑤ 終了 IP アドレス (初期値: 192.168.0.250)

DHCP サーバが提供する IP アドレスの終了アドレスを設定します。

⑥ リース時間 (初期値: 1 日)

DHCP サーバが提供する IP アドレスのリース時間を設定します。

- ・ 1 分
- ・ 1 時間
- ・ 1 日
- ・ 1 週

DNS サーバー

⑦ DNS サーバー（初期値：自動）

DNS サーバーのアドレスを自動で取得するか、手動で設定するか設定します。

手動を選択した場合、DNS（プライマリ）（初期値：0.0.0.0）と DNS（セカンダリ）（初期値：0.0.0.0）の入力欄が表示されるので入力します。

※ IPv4 設定を変更した場合、本端末は自動的にリセットされます。

◆ IP アドレス予約

IP アドレス予約

⑧ IPv4 アドレス (x.x.x.x)

⑨ MAC アドレス (xx:xx:xx:xx:xx:xx)

※ IP アドレスと MAC アドレスは最大 10 まで登録可能です。

予約 IP アドレス一覧

⑩ 予約されている IP アドレス、MAC アドレスのリストを表示します。

ネットワーク - LAN - IPv6 設定

本製品の IPv6 設定をします。



◆ IPv6

IPv6 LAN アドレス

- ① アドレス配布方法（初期値：RA）
 - ・ RA
 - ・ DHCPv6
- ② リース時間（初期値：24）
（アドレス配布方法で DHCPv6 選択時に表示）

DNS サーバー

- ③ DNS 通知方法（初期値：RA）
 - ・ RA
 - ・ DHCPv6
- ④ DNS タイプ（初期値：WAN 接続）
 - ・ WAN 接続
 - ・ スタティック

ネットワーク－無線 LAN － 2.4GHz 基本設定

2.4GHz 帯の無線 LAN に関する設定を行います。



◆ 2.4GHz 基本設定

SSID

- ① **SSID プライマリ**（初期値：SEI-XXXXXX、有効）
2.4GHz 帯の SSID プライマリを設定します。また、有効 / 無効を切り替えます。
- ② **SSID セカンダリ 1 ～ 3**（初期値：SEI-XXXXXX-2 ～ SEI-XXXXXX-4、無効）
2.4GHz 帯の SSID セカンダリを設定します。また、有効 / 無効を切り替えます。

2.4GHz 基本設定

- ③ **ワイヤレス動作モード**（初期値：b/g/n）
本製品の 2.4GHz 帯の無線 LAN 動作モードを設定します。
 - ・ b/g/n
 - ・ b/g
- ④ **チャンネル**（初期値：Auto）
無線 LAN 通信で使用するチャンネルを選択します。電波干渉がある場合には、使用するチャンネルを変更してください。複数の無線 LAN アクセスポイントを設置する場合には、チャンネルを変更してください。各無線 LAN アクセスポイントが、異なるチャンネルを使用することによって、電波干渉を軽減できます。
 - ・（周波数で 20MHz を選択した場合）Auto、1 ～ 13 の各チャンネル
 - ・（周波数で 20/40MHz を選択した場合）Auto、5 ～ 13 の各チャンネル
- ⑤ **周波数**（初期値：20MHz）
周波数を設定します。
 - ・ 20MHz
 - ・ 20/40MHz

⑥ **送信パワー**（初期値：100%）

本製品の送信パワーを調整します。他のネットワークへの電波干渉回避の目的で使用します。また、送信パワーを低下させ通信可能範囲を縮小することにより、外部からの不正アクセスなどのセキュリティの脅威を回避できる場合があります。

- ・ 20%
- ・ 40%
- ・ 60%
- ・ 80%
- ・ 100%

⑦ **WMM (Wi-Fi マルチメディア)**（初期値：有効）

WMM (Wi-Fi Multimedia) とは、無線 LAN を通じて音声通話 (VoIP) や音声や動画のストリーミング配信、オンラインゲームなどリアルタイム性が必要な通信を行う際、それらを Web 閲覧など他の通信より優先的に取り扱う機能です。IEEE 802.11n、IEEE 802.11ac を使用するときには本設定が「有効」になっている必要があります。

- ・ 無効
- ・ 有効

⑧ **BeamForming**（初期値：有効）

無線 LAN の電波を、BeamForming に対応した受信機器のある方向に集中させて飛ばします。通信距離を伸ばしたり、通信速度を向上させたりすることが期待できます。

- ・ 無効
- ・ 有効

ネットワーク－無線 LAN － 2.4GHz 詳細設定

2.4GHz 帯の無線 LAN に関する詳細な設定を行います。

■ SSID 認証方法で「オープン」を選択した場合



◆ 2.4GHz 詳細設定

2.4GHz 詳細設定

① SSID 選択（初期値：SEI-XXXXXX）

設定をする SSID を選択します。

② 接続状態（初期値：有効）

現在の接続状態を表示します。

③ SSID 認証方法（初期値：WPA2-PSK）

データの暗号化を設定します。オープンを選択すると、認証方法に関する項目が表示されなくなり、データが暗号化されないためセキュリティが低下します。

また、設定時に「セキュリティが設定されていません。オープンネットワークを作成しますか？」というメッセージが表示される場合があります。よく確認のうえ「OK」をクリックします。

- ・ オープン
- ・ WEP
- ・ WPA2-PSK
- ・ WPA/WPA2-PSK 共存モード

④ SSID ブロードキャスト（初期値：有効）

無線ネットワーク名（SSID）を公開するか、隠蔽するかを設定します。

- ・ 無効：SSID が隠蔽されます。
- ・ 有効：SSID が公開されます。

⑤ **無線 LAN 端末間通信禁止** (初期値：無効)

同じ SSID 内の無線 LAN 端末間の通信を禁止または許可します。

- ・ 無効
- ・ 有効

⑥ **WMF 有効** (初期値：無効)

WMF (Wireless Multicast Forwarding) とは、マルチキャストストリーミングサービスを無線 LAN で利用するための機能です。

- ・ 無効
- ・ 有効

⑦ **WMM No-Acknowledgement** (初期値：無効)

WMM の伝送エラーチェック応答を省く機能です。

- ・ 無効：無線 LAN の伝送効率を抑える代わりに電波環境の影響は受けにくくなります。
- ・ 有効：無線 LAN の伝送効率上がる代わりに電波環境の影響は受けやすくなります。

⑧ **WMMAPSD** (初期値：有効)

自動省電力機能 (APSD : automatic power save delivery) を有効にします。WMM が無効の場合は、自動省電力機能を使用することはできません。

- ・ 無効
- ・ 有効

WPS 設定

⑨ **WPS 有効** (初期値：有効)

WPS 機能の有効／無効を選択します。

- ・ 無効
- ・ 有効

⑩ **WPS 接続方法** (初期値：WPS ボタン)

WPS 機能を使って接続する方法を選択します。

- ・ **WPS ボタン**
- ・ **STA PIN**
- ・ **AP PIN**

■ SSID 認証方法で「WEP」を選択した場合



◆ 2.4GHz 詳細設定

2.4GHz 詳細設定

① SSID 選択 (初期値：SEI-XXXXX)

設定をする SSID を選択します。

② 接続状態 (初期値：有効)

現在の接続状態を表示します。

③ SSID 認証方法 (初期値：WPA2-PSK)

データの暗号化を設定します。設定時に「この操作は WPS を無効にします。続行しますか?」というメッセージが表示される場合があります。よく確認のうえ「OK」をクリックします。

- ・ オープン
- ・ WEP
- ・ WPA2-PSK
- ・ WPA/WPA2-PSK 共存モード

④ 暗号化長 (初期値：64-bit)

データ送信時の暗号強度を設定します。bit の数字が大きいほど、より高度なセキュリティを実現できます。

- ・ 128-bit
- ・ 64-bit

⑤ **現在のネットワークキーインデックス**（初期値：1）

使用するネットワークキーを選択します。

- ・ 1
- ・ 2
- ・ 3
- ・ 4

⑥ **ネットワークキー 1～4**（初期値：1234567890）

選択したセキュリティに応じた文字列（任意）をそれぞれに入力します。

「64-bit」を選択した場合

5文字の半角英数字、16進数入力の場合は0-9およびa-fの10桁で入力してください。

「128bit」を選択した場合

13文字の半角英数字、16進数入力の場合は0-9およびa-fの26桁で入力してください。

⑦ **SSID ブロードキャスト**（初期値：有効）

無線ネットワーク名（SSID）を公開するか、隠蔽するかを設定します。

- ・ **無効**：SSIDが隠蔽されます。
- ・ **有効**：SSIDが公開されます。

⑧ **無線 LAN 端末間通信禁止**（初期値：無効）

同じSSID内の無線LAN端末間の通信を禁止または許可します。

- ・ **無効**
- ・ **有効**

⑨ **WMF 有効**（初期値：無効）

WMF（Wireless Multicast Forwarding）とは、マルチキャストストリーミングサービスを無線LANで利用するための機能です。

- ・ **無効**
- ・ **有効**

⑩ **WMM No-Acknowledgement**（初期値：無効）

WMMの伝送エラーチェック応答を省く機能です。

- ・ **無効**：無線LANの伝送効率を抑える代わりに電波環境の影響は受けにくくなります。
- ・ **有効**：無線LANの伝送効率上がる代わりに電波環境の影響は受けやすくなります。

⑪ **WMMAPSD**（初期値：有効）

自動省電力機能（APSD：automatic power save delivery）を有効にします。WMMが無効の場合は、自動省電力機能を使用することはできません。

- ・ **無効**
- ・ **有効**

■ SSID 認証方法で「WPA2-PSK」または「WPA/WPA2-PSK 共存モード」を選択した場合



◆ 2.4GHz 詳細設定

2.4GHz 詳細設定

- ① **SSID 選択** (初期値：SEI-XXXXX)
設定をする SSID を選択します。
- ② **接続状態** (初期値：有効)
現在の接続状態を表示します。
- ③ **SSID 認証方法** (初期値：WPA2-PSK)
データの暗号化を設定します。
 - ・ オープン
 - ・ WEP
 - ・ WPA2-PSK
 - ・ WPA/WPA2-PSK 共存モード
- ④ **WPA プリシェアードキー** (初期値：●●●●●●●●●●●●●●●●)
WPA プリシェアードキーを設定します。
※ 「WPA プリシェアードキー表示」を無効にしている場合、キーは表示されずダミー表示 (●) になります。
- ⑤ **WPA プリシェアードキー表示** (初期値：無効)
「WPA プリシェアードキー」の項目をダミー表示 (●) しないで平文で表示します。
 - ・ 無効
 - ・ 有効

⑥ **WPA 暗号化**（初期値：AES）

WPA および WPA2 の暗号化方式を設定します。

- ・ TKIP
- ・ AES
- ・ TKIP+AES

⑦ **SSID ブロードキャスト**（初期値：有効）

無線ネットワーク名（SSID）を公開するか、隠蔽するかを設定します。

- ・ **無効**：SSID が隠蔽されます。
- ・ **有効**：SSID が公開されます。

⑧ **無線 LAN 端末間通信禁止**（初期値：無効）

同じ SSID 内の無線 LAN 端末間の通信を禁止または許可します。

- ・ **無効**
- ・ **有効**

⑨ **WMF 有効**（初期値：無効）

WMF（Wireless Multicast Forwarding）とは、マルチキャストストリーミングサービスを無線 LAN で利用するための機能です。

- ・ **無効**
- ・ **有効**

⑩ **WMM No-Acknowledgement**（初期値：無効）

WMM の伝送エラーチェック応答を省く機能です。

- ・ **無効**：無線 LAN の伝送効率を抑える代わりに電波環境の影響は受けにくくなります。
- ・ **有効**：無線 LAN の伝送効率上がる代わりに電波環境の影響は受けやすくなります。

⑪ **WMMAPSD**（初期値：有効）

自動省電力機能（APSD：automatic power save delivery）を有効にします。WMM が無効の場合は、自動省電力機能を使用することはできません。

- ・ **無効**
- ・ **有効**

WPS 設定

⑫ **WPS 有効**（初期値：有効）

WPS 機能の有効／無効を選択します。

- ・ **無効**
- ・ **有効**

⑬ **WPS 接続方法**（初期値：WPS ボタン）

WPS 機能を使って接続する方法を選択します。

- ・ **WPS ボタン**
- ・ **STA PIN**
- ・ **AP PIN**

ネットワーク－無線 LAN － 5GHz 基本設定

5GHz 帯の無線 LAN に関する設定を行います。



◆ 5GHz 基本設定

SSID

- ① **SSID プライマリ**（初期値：SEI-XXXXX-A、有効）
5GHz 帯の SSID プライマリを設定します。また、有効 / 無効を切り替えます。
- ② **SSID セカンダリ 1 ~ 3**（初期値：SEI-XXXXX-A2 ~ SEI-XXXXX-A4、無効）
5GHz 帯の SSID セカンダリを設定します。また、有効 / 無効を切り替えます。

5GHz 基本設定

- ③ **ワイヤレス動作モード**（初期値：a/n/ac）
本製品の 5GHz 帯の無線 LAN 動作モードを設定します。
 - ・ a
 - ・ a/n
 - ・ a/n/ac
- ④ **チャンネル**（初期値：Auto）
無線 LAN 通信で使用するチャンネルを選択します。電波干渉がある場合には、使用するチャンネルを変更してください。複数の無線 LAN アクセスポイントを設置する場合には、チャンネルを変更してください。各無線 LAN アクセスポイントが、異なるチャンネルを使用することによって、電波干渉を軽減できます。
 - ・（周波数で 20MHz を選択した場合） Auto/36/40/44/48/52/56/60/64/100/104/108/112/116/120/124/128/132/134/140 の各チャンネル
 - ・（周波数で 20/40MHz を選択した場合） Auto/40/48/56/64/104/112/120/128/136 の各チャンネル
 - ・（周波数で 80MHz を選択した場合） Auto/36/40/44/48/52/56/60/64/100/104/108/112/116/120/124/128 の各チャンネル

⑤ **周波数**（初期値：80MHz）

周波数を設定します。

- 20MHz
- 20/40MHz
- 80MHz

⑥ **送信パワー**（初期値：100%）

本製品の送信パワーを調整します。他のネットワークへの電波干渉回避の目的で使用します。また、送信パワーを低下させ通信可能範囲を縮小することにより、外部からの不正アクセスなどのセキュリティの脅威を回避できる場合があります。

- 20%
- 40%
- 60%
- 80%
- 100%

⑦ **WMM (Wi-Fi マルチメディア)**（初期値：有効）

WMM (Wi-Fi Multimedia) とは、無線 LAN を通じて音声通話 (VoIP) や音声や動画のストリーミング配信、オンラインゲームなどリアルタイム性が必要な通信を行う際、それらを Web 閲覧など他の通信より優先的に取り扱う機能です。IEEE 802.11n、IEEE 802.11ac を使用するときには本設定が「有効」になっている必要があります。

- 無効
- 有効

⑧ **MU-MIMO**（初期値：有効）

MU-MIMO とは、複数の無線 LAN 端末が同時通信しても通信速度の低下を抑える機能です。MU-MIMO を利用するには、受信側の無線 LAN 端末も MU-MIMO に対応している必要があります。

- 無効
- 有効

⑨ **BeamForming**（初期値：有効）

無線 LAN の電波を受信機器のある向きに集中させます。通信距離を伸ばしたり、通信速度を向上させたりすることが期待できます。

- 無効
- 有効

ネットワーク－無線 LAN － 5GHz 詳細設定

5GHz 帯の無線 LAN に関する詳細な設定を行います。

■ SSID 認証方法で「オープン」を選択した場合



◆ 5GHz 詳細設定

5GHz 詳細設定

① SSID 選択 (初期値：SEI-XXXXX-A)

設定をする SSID を選択します。

② 接続状態 (初期値：有効)

現在の接続状態を表示します。

③ SSID 認証方法 (初期値：WPA2-PSK)

データの暗号化を設定します。オープンを選択すると、認証方法に関する項目が表示されなくなり、データが暗号化されないためセキュリティが低下します。

また、設定時に「セキュリティが設定されていません。オープンネットワークを作成しますか?」というメッセージが表示される場合があります。よく確認のうえ「OK」をクリックします。

- ・ オープン
- ・ WEP
- ・ WPA2-PSK
- ・ WPA/WPA2-PSK 共存モード

④ SSID ブロードキャスト (初期値：有効)

無線ネットワーク名 (SSID) を公開するか、隠蔽するかを設定します。

- ・ 無効：SSID が隠蔽されます。
- ・ 有効：SSID が公開されます。

⑤ 無線 LAN 端末間通信禁止 (初期値：無効)

同じ SSID 内の無線 LAN 端末間の通信を禁止または許可します。

- ・ 無効
- ・ 有効

⑥ **WMM 有効** (初期値：無効)

WMM (Wireless Multicast Forwarding) とは、マルチキャストストリーミングサービスを無線 LAN で利用するための機能です。

- ・ 無効
- ・ 有効

⑦ **WMM No-Acknowledgement** (初期値：無効)

WMM の伝送エラーチェック応答を省く機能です。

- ・ 無効：無線 LAN の伝送効率を抑える代わりに電波環境の影響は受けにくくなります。
- ・ 有効：無線 LAN の伝送効率が上がる代わりに電波環境の影響は受けやすくなります。

⑧ **WMMAPSD** (初期値：有効)

自動省電力機能 (APSD : automatic power save delivery) を有効にします。WMM が無効の場合は、自動省電力機能を使用することはできません。

- ・ 無効
- ・ 有効

WPS 設定

⑨ **WPS 有効** (初期値：有効)

WPS 機能の有効／無効を選択します。

- ・ 無効
- ・ 有効

⑩ **WPS 接続方法** (初期値：WPS ボタン)

WPS 機能を使って接続する方法を選択します。

- ・ WPS ボタン
- ・ STA PIN
- ・ AP PIN

■ SSID 認証方法で「WEP」を選択した場合



◆ 5GHz 詳細設定

5GHz 詳細設定

① SSID 選択 (初期値：SEI-XXXXX-A)

設定をする SSID を選択します。

② 接続状態 (初期値：有効)

現在の接続状態を表示します。

③ SSID 認証方法 (初期値：WPA2-PSK)

データの暗号化を設定します。設定時に「この操作は WPS を無効にします。続行しますか?」というメッセージが表示される場合があります。よく確認のうえ「OK」をクリックします。

- ・ オープン
- ・ WEP
- ・ WPA2-PSK
- ・ WPA/WPA2-PSK 共存モード

④ 暗号化長 (初期値：64-bit)

データ送信時の暗号強度を設定します。bit の数字が大きいほど、より高度なセキュリティを実現できます。

- ・ 128-bit
- ・ 64-bit

⑤ **現在のネットワークキーインデックス**（初期値：1）

使用するネットワークキーを選択します。

- ・ 1
- ・ 2
- ・ 3
- ・ 4

⑥ **ネットワークキー 1～4**（初期値：1234567890）

選択したセキュリティに応じた文字列（任意）をそれぞれに入力します。

「64-bit」を選択した場合

5文字の半角英数字、16進数入力の場合は0-9およびa-fの10桁で入力してください。

「128bit」を選択した場合

13文字の半角英数字、16進数入力の場合は0-9およびa-fの26桁で入力してください。

⑦ **SSID ブロードキャスト**（初期値：有効）

無線ネットワーク名（SSID）を公開するか、隠蔽するかを設定します。

- ・ **無効**：SSIDが隠蔽されます。
- ・ **有効**：SSIDが公開されます。

⑧ **無線 LAN 端末間通信禁止**（初期値：無効）

同じSSID内の無線LAN端末間の通信を禁止または許可します。

- ・ **無効**
- ・ **有効**

⑨ **WMF 有効**（初期値：無効）

WMF（Wireless Multicast Forwarding）とは、マルチキャストストリーミングサービスを無線LANで利用するための機能です。

- ・ **無効**
- ・ **有効**

⑩ **WMM No-Acknowledgement**（初期値：無効）

WMMの伝送エラーチェック応答を省く機能です。

- ・ **無効**：無線LANの伝送効率を抑える代わりに電波環境の影響は受けにくくなります。
- ・ **有効**：無線LANの伝送効率が上がる代わりに電波環境の影響は受けやすくなります。

⑪ **WMMAPSD**（初期値：有効）

自動省電力機能（APSD：automatic power save delivery）を有効にします。WMMが無効の場合は、自動省電力機能を使用することはできません。

- ・ **無効**
- ・ **有効**

■ SSID 認証方法で「WPA2-PSK」または「WPA/WPA2-PSK 共存モード」を選択した場合



◆ 5GHz 詳細設定

5GHz 詳細設定

① SSID 選択 (初期値：SEI-XXXXX-A)

設定をする SSID を選択します。

② 接続状態 (初期値：有効)

現在の接続状態を表示します。

③ SSID 認証方法 (初期値：WPA2-PSK)

データの暗号化を設定します。

- ・ オープン
- ・ WEP
- ・ WPA2-PSK
- ・ WPA/WPA2-PSK 共存モード

④ WPA プリシェアードキー (初期値：●●●●●●●●●●●●●●●●)

WPA プリシェアードキーを設定します。

※ 「WPA プリシェアードキー表示」を無効にしている場合、キーは表示されずダミー表示 (●) になります。

⑤ WPA プリシェアードキー表示 (初期値：無効)

「WPA プリシェアードキー」の項目をダミー表示 (●) しないで平文で表示します。

- ・ 無効
- ・ 有効

⑥ **WPA 暗号化**（初期値：AES）

WPA および WPA2 の暗号化方式を設定します。

- ・ TKIP
- ・ AES
- ・ TKIP+AES

⑦ **SSID ブロードキャスト**（初期値：有効）

無線ネットワーク名（SSID）を公開するか、隠蔽するかを設定します。

- ・ **無効**：SSID が隠蔽されます。
- ・ **有効**：SSID が公開されます。

⑧ **無線 LAN 端末間通信禁止**（初期値：無効）

同じ SSID 内の無線 LAN 端末間の通信を禁止または許可します。

- ・ **無効**
- ・ **有効**

⑨ **WMF 有効**（初期値：無効）

WMF（Wireless Multicast Forwarding）とは、マルチキャストストリーミングサービスを無線 LAN で利用するための機能です。

- ・ **無効**
- ・ **有効**

⑩ **WMM No-Acknowledgement**（初期値：無効）

WMM の伝送エラーチェック応答を省く機能です。

- ・ **無効**：無線 LAN の伝送効率を抑える代わりに電波環境の影響は受けにくくなります。
- ・ **有効**：無線 LAN の伝送効率が上がる代わりに電波環境の影響は受けやすくなります。

⑪ **WMMAPSD**（初期値：有効）

自動省電力機能（APSD：automatic power save delivery）を有効にします。WMM が無効の場合は、自動省電力機能を使用することはできません。

- ・ **無効**
- ・ **有効**

WPS 設定

⑫ **WPS 有効**（初期値：有効）

WPS 機能の有効／無効を選択します。

- ・ **無効**
- ・ **有効**

⑬ **WPS 接続方法**（初期値：WPS ボタン）

WPS 機能を使って接続する方法を選択します。

- ・ **WPS ボタン**
- ・ **STA PIN**
- ・ **AP PIN**

ネットワーク - NTP - NTP 設定

本製品の NTP 設定をします。



◆ NTP 設定

NTP 設定

- ① 現在の時間
- ② インターネットタイムサーバーと自動同期 (初期値：有効)
 - ・ 有効
 - ・ 無効
- ③ NTP サーバー同期間隔 (時間) (初期値：24)
- ④ NTP タイムゾーン (初期値：(GMT+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo)

NTP サーバー

- ⑤ NTP サーバーの情報
 - ・ 無効
 - ・ ntp.nict.jp
 - ・ その他

※ NTP サーバーのアドレスは最大 63 文字まで入力可能です。

セキュリティ-ファイアウォール- IP フィルタリング (送信)

本製品の IP フィルタリング (送信) を設定します。



◆ IP フィルタリング (送信)

IP フィルタリング (送信)

① IP フィルタリング (初期値：無効)

- ・ 無効
- ・ 有効

IP フィルタタイプ

② IP フィルタ名

本設定に任意の名前をつけることができます。

③ IP バージョン (初期値：IPv4)

④ プロトコル (初期値：全て)

- ・ 全て
- ・ TCP
- ・ UDP
- ・ TCP/UDP
- ・ ICMP

⑤ 送信元 IP アドレス (範囲)

⑥ 送信元サブネットマスク

⑦ 送信元ポート (範囲)

⑧ 宛先 IP アドレス (範囲)

⑨ 宛先サブネットマスク

⑩ 宛先ポート (範囲)

IP フィルタリング（送信）

① フィルタ名

フィルタリング設定のリストを表示します。

セキュリティ-ファイアウォール- IP フィルタリング (受信)

本製品の IP フィルタリング (受信) を設定します。



◆ IP フィルタリング (受信)

IP フィルタリング (受信)

① IP フィルタリング (初期値：無効)

- ・ 無効
- ・ 有効

IP フィルタタイプ

② IP フィルタ名

本設定に任意の名前をつけることができます。

③ IP バージョン (初期値：IPv4)

④ プロトコル (初期値：全て)

- ・ 全て
- ・ TCP
- ・ UDP
- ・ TCP/UDP
- ・ ICMP

⑤ 送信元 IP アドレス (範囲)

⑥ 送信元サブネットマスク

⑦ 送信元ポート (範囲)

⑧ 宛先 IP アドレス (範囲)

⑨ 宛先サブネットマスク

⑩ 宛先ポート (範囲)

IP フィルタリング (受信)

① フィルタ名

フィルタリング設定のリストを表示します。

セキュリティファイアウォール- MAC フィルタリング

本製品の MAC フィルタリングを設定します。



◆ MAC フィルタリング

MAC フィルタリング

① MAC フィルタリング (初期値：無効)

- ・ 無効
- ・ 有効

② MAC フィルタタイプ (初期値：ブラックリスト)

通信を制限するブラックリストか、通信を許可するホワイトリストのどちらかを選択します。

- ・ ブラックリスト
- ・ ホワイトリスト

③ 送信元 MAC アドレス

通信を制限 / 許可したい MAC アドレスを、有線 / 無線に分けて設定します。

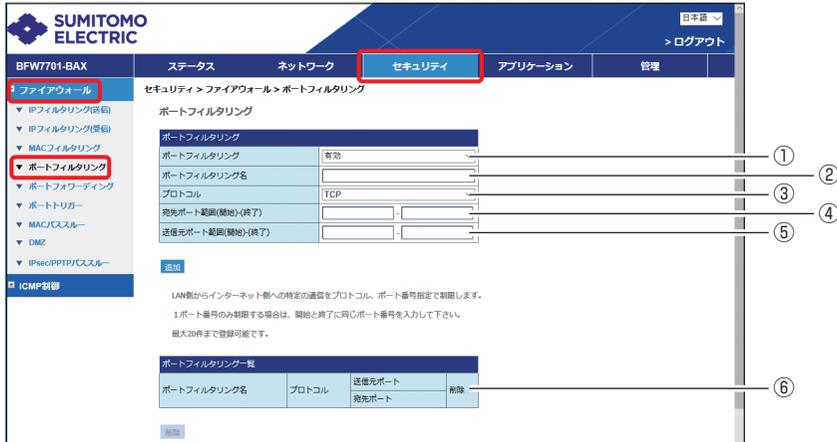
MAC フィルタリング一覧

④ ブラックリスト / ホワイトリスト

MAC フィルタリング設定のリストを表示します。

セキュリティファイアウォールポートフィルタリング

本製品のポートフィルタリングを設定します。



◆ ポートフィルタリング

ポートフィルタリング

① ポートフィルタリング（初期値：有効）

- ・ 無効
- ・ 有効

② ポートフィルタリング名

本設定に任意の名前をつけることができます。

③ プロトコル

- ・ TCP
- ・ UDP
- ・ TCP/UDP

④ 宛先ポート範囲（開始）－（終了）

フィルタリングする宛先ポート範囲を設定します。

⑤ 送信元ポート範囲（開始）－（終了）

フィルタリングする送信元ポート範囲を設定します。

ポートフィルタリング一覧

⑥ ポートフィルタリング名

ポートフィルタリング設定のリストを表示します。

セキュリティファイアウォールポートフォワーディング

本製品のポートフォワーディングを設定します。



◆ ポートフォワーディング

ポートフォワーディング

① ポートフォワーディング (初期値：有効)

- ・ 無効
- ・ 有効

② ポートフォワーディング名

本設定に任意の名前をつけることができます。

③ プロトコル

- ・ TCP
- ・ UDP
- ・ TCP/UDP

④ WAN 側ポート番号 (開始) — (終了)

⑤ LAN IP アドレス

⑥ LAN 側 (転送先) ポート番号 (開始) — (終了)

ポートフォワーディング一覧

⑦ ポートフォワーディング名

ポートフォワーディング設定のリストを表示します。

セキュリティファイアウォールポートトリガー

本製品のポートトリガーを設定します。ゲームやテレビ会議などの特殊なアプリケーションにおいて、ルーターの特定ポートの開放が必要な場合などに設定します。



◆ ポートトリガー

ポートトリガー

① サービス名

本設定に任意の名前をつけることができます。

② ポートトリガー設定

トリガープロトコル / 開始トリガーポート / 終了トリガーポート / 開放プロトコル / 開始開放ポート / 終了開放ポートの各項目を入力します。

ポートトリガー一覧

③ サービス名

ポートトリガー設定のリストを表示します。

セキュリティファイアウォールー MAC パススルー

本製品の MAC パススルーを設定します。特定の送信元 MAC アドレスの packets を、ルーターが上位ネットワークに中継します。



◆ MAC パススルー設定

MAC パススルー

① MAC パススルー（初期値：無効）

- ・ 無効
- ・ 有効

② 送信元 MAC アドレス

③ 送信元 MAC アドレス

MAC パススルー設定のリストを表示します。
(MAC パススルーを有効時に表示)

セキュリティファイアウォールー DMZ

本製品のDMZを設定します。ファイアウォール外部からの通信パケットを、DMZで指定したLAN側のIPアドレスに転送します。



◆ DMZ

DMZ

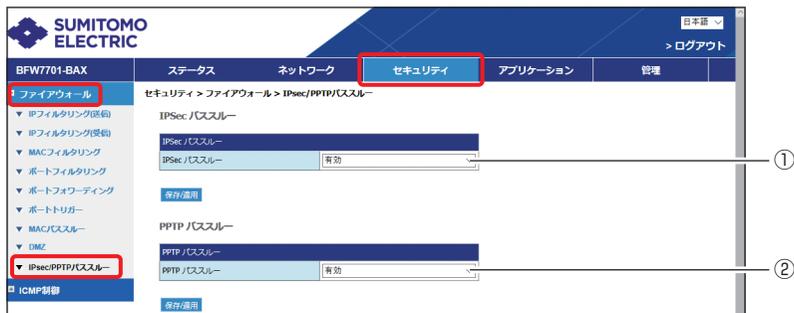
① DMZ ホスト (初期値：無効)

- ・ 無効
- ・ 有効

② DMZ ホスト IP アドレス

セキュリティファイアウォールー IPsec/PPTP パススルー

本製品の IPsec/PPTP パススルーを設定します。



◆ IPsec パススルー

IPsec パススルー

① IPsec パススルー（初期値：有効）

- ・ 無効
- ・ 有効

◆ PPTP パススルー

PPTP パススルー

② PPTP パススルー（初期値：有効）

- ・ 無効
- ・ 有効

セキュリティ- ICMP 制御- ICMP 制御

本製品の ICMP 制御を設定します。



◆ ICMP 制御

ICMP 制御

① インターネット側からの Ping への応答 (初期値: しない)

- ・ しない
- ・ する

アプリケーション - NAT - NAT 設定

本製品の NAT を設定します。



◆ NAT 設定

NAT タイムアウト時間

- ① ICMP セッションタイムアウト時間 (秒) (初期値 : 300)
- ② TCP セッションタイムアウト時間 (秒) (初期値 : 300)
- ③ UDP セッションタイムアウト時間 (秒) (初期値 : 300)

アプリケーション - UPnP - UPnP 設定

UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効 / 無効を設定します。



◆ UPnP 設定

UPnP

① UPnP (初期値：有効)

- ・ 有効
- ・ 無効

アプリケーション - IGMP - IGMP 設定

本製品の IGMP を設定します。



◆ IGMP 設定

IGMP

① IGMP スヌーピング（初期値：有効）

- ・ 無効
- ・ 有効

② IGMP プロキシ（初期値：有効）

- ・ 無効
- ・ 有効

アプリケーション – MLD – MLD 設定

本製品の MLD を設定します。



◆ MLD 設定

MLD

- ① MLD スヌーピング（初期値：無効）
- ② MLD プロキシ（初期値：無効）

管理－アカウント情報－ユーザー情報

本製品のユーザー情報を設定します。

The screenshot shows the 'SUMITOMO ELECTRIC' management interface. The top navigation bar includes '管理' (Management) and 'ログアウト' (Logout). The left sidebar has 'アカウント情報' (Account Information) and 'ユーザー情報' (User Information) selected. The main content area is titled 'ユーザー情報' (User Information) and contains a form with the following fields:

ユーザー情報	
ユーザーID	user(変更できません)
新しいパスワード	<input type="password"/>
新しいパスワード(再確認)	<input type="password"/>
新しいパスワード(表示)	無効

① points to the 'ユーザーID' field.
② points to the '新しいパスワード' field.
③ points to the '新しいパスワード(再確認)' field.
④ points to the '新しいパスワード(表示)' field.

◆ユーザー情報

ユーザー情報

① ユーザー ID (初期値：user)

ユーザー ID の変更はできません。

② 新しいパスワード

新しく設定するパスワードを入力します。最大 16 文字まで入力可能です。スペースは使用できません。

③ 新しいパスワード (再確認)

確認のため、新しいパスワードをもう一度入力します。

④ 新しいパスワード (表示) (初期値：無効)

有効の場合、「新しいパスワード」、「新しいパスワード (再確認)」の項目をダミー表示 (●) しないで平文で表示します。

管理－保守－端末設定

本製品の端末設定をします。



◆ 端末設定

設定初期化

- ① 端末の設定を工場出荷時状態に初期化後、自動的に再起動します（初期値：無効、 101 ページ「Web 設定画面で初期化する」参照）

- ・ 無効
- ・ 有効

再起動

- ② 端末を再起動します（初期値：無効）

- ・ 無効
- ・ 有効

設定ファイルエクスポート

- ③ 設定ファイルをエクスポートします（初期値：無効、 104 ページ「設定値の保存」参照）

設定ファイルをインポートします（ 107 ページ「設定値の復元」参照）

- ④ 設定ファイルをインポートします

「参照」をクリックして、インポートする設定ファイルを選択してください。

管理－保守－ファームウェア更新

本製品のファームウェアを更新します。



◆ファームウェア更新

ファームウェア更新

①更新ファイル選択

「参照」をクリックして、更新するファームウェアファイルを選択してください。

管理－保守－疎通テスト

本製品の疎通テストを実施します。



◆疎通テスト

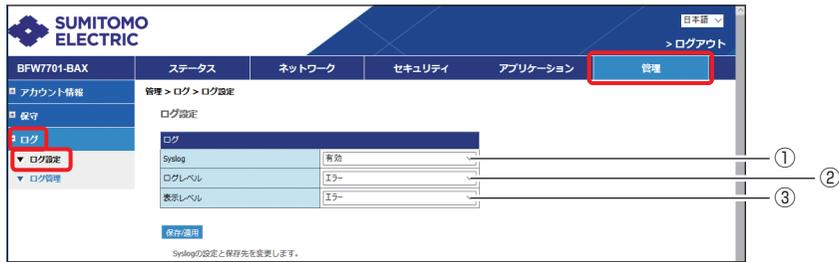
疎通テスト

① 宛先アドレス

宛先 IP アドレス、またはホスト名を入力し「開始」をクリックしてください。

管理－ログ－ログ設定

本製品のログ設定をします。Syslog の設定と保存先を変更します。



◆ ログ設定

ログ

① Syslog (初期値：有効)

- ・有効
- ・無効

② ログレベル (初期値：エラー)

- ・致命的
- ・早急
- ・危険
- ・エラー
- ・警告
- ・通知
- ・情報
- ・デバッグ

③ 表示レベル (初期値：エラー)

- ・致命的
- ・早急
- ・危険
- ・エラー
- ・警告
- ・通知
- ・情報
- ・デバッグ

管理－ログ－ログ管理

本製品のログを管理をします。



◆ ログ管理

Syslog

- ① Syslog を表示 / 保存します

NAT ログ

- ② NAT ログを表示します

ログ履歴消去

- ③ 全てのログ履歴を消去します

4 メンテナンス

■ ファームウェアの更新

本製品は最新のファームウェアが提供されると自動的にファームウェアの更新を行いますので、通常お客様にファームウェア更新の操作を行っていただく必要はありません。

注意

ファームウェアを更新中、約 30 秒 POWER ランプが早く点滅します。この間は本製品の電源を絶対に切らないでください。ファームウェア更新後、本製品は自動的に再起動します。

■ 本製品の初期化

初期化とは、本製品に設定した内容を消去して、工場出荷状態に戻すことです。

本製品が正常に動作しない場合や、パスワードを忘れた場合には本製品を初期化して、はじめから設定し直すことをお勧めします。

初期化する方法には、下記の 2 通りの方法があります。

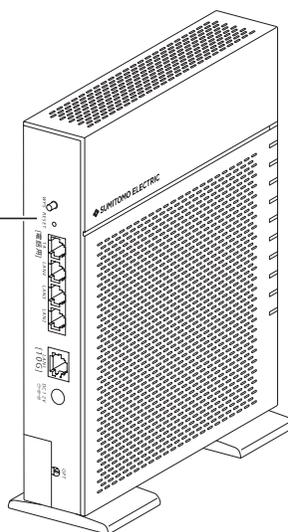
- RESET ボタンで初期化する
- Web 設定画面で初期化する

いったん初期化すると、それまでに設定した値がすべて消去され、工場出荷状態に戻りますのでご注意ください。

RESET ボタンで初期化する

本製品の電源が入った状態で背面の RESET ボタンを 6 秒以上押し続けると、再起動が始まり工場出荷状態に戻ります。

RESET ボタンを 6 秒以上
押し続けます。



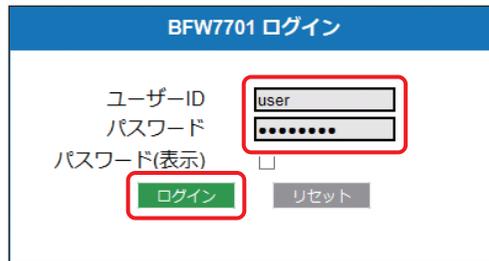
Web 設定画面で初期化する

- 1 本製品とパソコンを有線 LAN で接続した状態で、Microsoft Edge などの Web ブラウザを起動して、Web ブラウザのアドレスバーに「192.168.0.254」（本製品の管理用 IP アドレス）を入力し、キーボードの ENTER キーまたは Web ブラウザのアクセスボタンをクリックします。



※お客様で管理用 IP アドレスを設定された場合は、設定内容が反映されます。

- 2 BFW7701 ログイン画面が表示されます。ユーザー ID 入力欄に「user」を、パスワード入力欄に本製品の側面にあるラベルに記載されている「パスワード」を入力し、「ログイン」をクリックします。



※お客様でユーザー ID とパスワードを設定された場合は、設定内容が反映されます。

※「ユーザー ID」、「パスワード」の工場出荷時の初期値は、本製品の側面にあるラベルに記載されている「ユーザー名」と「パスワード」をご確認ください。



3 端末基本情報が表示されます。

The screenshot shows the 'Basic Information' page for device BFW7701-BAX. The left sidebar contains a menu with '端末基本情報' (Basic Information) selected. The main content area is titled '端末基本情報' and contains two sections: 'システム情報' (System Information) and 'NTP情報' (NTP Information).

システム情報	
端末名	BFW7701-BAX
シリアル番号	88700000000000000000
ONU MACアドレス	88-7000-00-00-00-00
WAN MACアドレス	
ハードウェアバージョン	A00
ソフトウェアバージョン	V2.0.13
ソフトウェア更新日	1970-01-01 00:42:26
起動時間	00:29:33

NTP情報	
前回実行時刻	1970-01-01 00:29:32
NTPサーバー情報	ntp.nict.jp

※ 英語表記に切り替えたいときは、表画面右上のプルダウンメニューから「English」を選択します。

4 表示されたページの左側メニューの「管理」－「保守」－「端末設定」を選択します。

The screenshot shows the 'Maintenance' page for device BFW7701-BAX. The left sidebar menu has '管理' (Management) selected, and its sub-menu '保守' (Maintenance) is also selected. The '端末設定' (Device Settings) sub-menu item is highlighted with a red box. The main content area is titled '端末設定' and contains several configuration options with dropdown menus and buttons.

- 5 「設定初期化」のプルダウンメニューから「有効」を選択し、「工場出荷時設定で復旧する」をクリックします。



- 6 「端末再起動後、全ての設定内容が消去され初期値に戻ります。」と表示されたら、「OK」をクリックします。

- 初期化が開始され、しばらくして本製品が自動的に再起動を行うと初期化は完了です。
Web ブラウザを閉じてください。

■ 設定値の保存と復元

Web 設定画面で現在の本製品の設定内容をファイルに保存したり復元したりすることができます。

設定内容をパソコンのハードディスクにバックアップファイルとして保存しておくこと、保存済みのバックアップファイルから本製品の設定内容を復元することができます。

設定値の保存

- 1 本製品とパソコンを有線 LAN で接続した状態で、Microsoft Edge などの Web ブラウザを起動して、Web ブラウザのアドレスバーに「192.168.0.254」（本製品の管理用 IP アドレス）を入力し、キーボードの ENTER キーまたは Web ブラウザのアクセスボタンをクリックします。



※お客様で管理用 IP アドレスを設定された場合は、設定内容が反映されます。

- 2 BFW7701 ログイン画面が表示されます。ユーザー ID 入力欄に「user」を、パスワード入力欄に本製品の側面にあるラベルに記載されている「パスワード」を入力し、「ログイン」をクリックします。



※お客様でユーザー ID とパスワードを設定された場合は、設定内容が反映されます。

※「ユーザー ID」、「パスワード」の工場出荷時の初期値は、本製品の側面にあるラベルに記載されている「ユーザー名」と「パスワード」をご確認ください。



3 端末基本情報が表示されます。



※ 英語表記に切り替えたいときは、画面右上のプルダウンメニューから「English」を選択します。

4 表示されたページの左側メニューの「管理」－「保守」－「端末設定」を選択します。

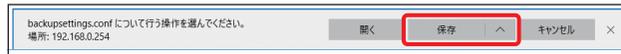


5 「設定ファイルエクスポート」のプルダウンメニューから「有効」を選択し、「エクスポート実行」をクリックします。



6 「backupsettings.conf について行う操作を選んでください。」と表示されたら、「保存」をクリックしてバックアップファイルを保存します。

※バックアップファイルは、通常「ダウンロード」フォルダ内に保存されます。

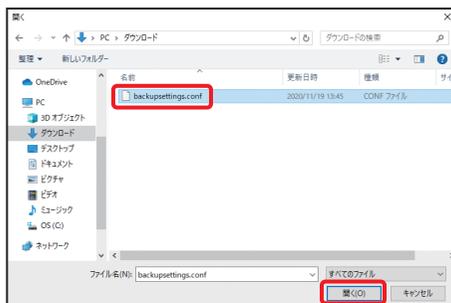
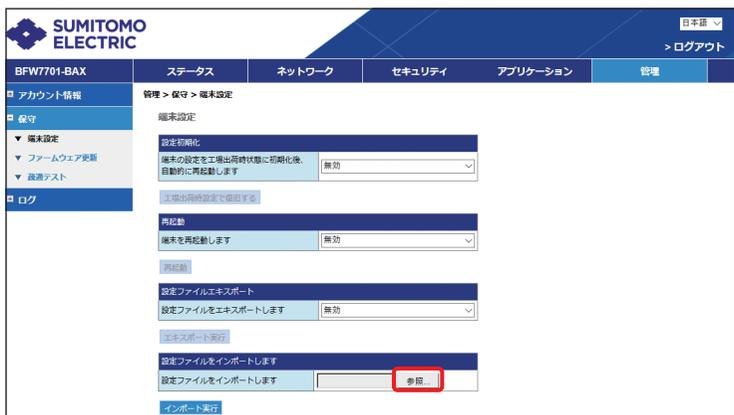


●バックアップファイルの保存が終了したら、設定エクスポートは完了です。Web ブラウザを閉じてください。

設定値の復元

- 1 「設定値の保存」の手順①～④までを行います。
- 2 「参照」をクリックし、設定内容を保存したバックアップファイルを指定して「開く」をクリックします。

※バックアップファイルは、通常「ダウンロード」フォルダ内に保存されています。



3 「インポート実行」をクリックします。

設定値の復元を開始します。



- 設定のインポートが開始され、しばらくして本製品が自動的に再起動を行うと設定インポートは完了です。Web ブラウザを閉じてください。

5 トラブルシューティング

トラブルが発生したときは、現在の症状をご確認のうえ、以下のページでその対処をご覧ください。

症状が改善しない場合は、ご契約された事業者へご連絡ください。

インターネットにつながらない

- | | |
|----|--|
| 対処 | <ul style="list-style-type: none">●「LAN 設定」が正しく設定されているか確認してください。DHCP モードが「無効」に設定されているとパソコンの IP アドレスを自動取得できませんのでご注意ください。●本製品前面の OPT ランプと PON ランプが緑色に点灯しているか確認してください。万一、消灯または点滅しているときは、ご契約の事業者へご連絡ください。 |
|----|--|

無線がつながらない

- | | |
|----|---|
| 対処 | <ul style="list-style-type: none">●接続する機器に無線 LAN スイッチがある場合は、スイッチを ON にしてください。OFF になっていると無線 LAN で接続できない場合があります。詳しくは、接続する機器の取扱説明書などを参照してください。●無線 LAN の「ネットワーク SSID」や「セキュリティキー」の設定が、本製品と接続する機器と同じであるか確認してください。半角英数記号を使用し、大文字・小文字を区別します。一致しないために接続できない場合があります。詳しくは、接続する機器の取扱説明書などを参照してください。●接続するパソコンが IP アドレスや DNS サーバなどのアドレスを自動で取得する (DHCP 機能) 設定になっているか確認してください。DHCP 機能を利用しない場合は、各パソコンに IP アドレスや DNS サーバのアドレスを手動で設定する必要があります。詳しくは、パソコン OS のヘルプなどを参照してください。●セキュリティ設定は、同じ無線 LAN ネットワーク上にあるすべての機器が同じ設定になっている必要があります。設定が少しでも異なっている機器はネットワークに接続できません。●電子レンジ付近、静電気や電波障害の発生する場所、金属ドアで遮断された部屋などでは、無線 LAN の電波が届かなくなったり、通信遮断や速度低下などの不安定な状態になったりする場合があります。設置場所を変えるなど電波状態のよい場所でご使用ください。●設定を変更した後につながらなくなった場合や、設定が正しいのにつながらない場合は、いったんすべての機器の電源を入れ直してから接続してみてください。 |
|----|---|

他のパソコンのファイルやプリンタの共有ができない

- | | |
|----|---|
| 対処 | <ul style="list-style-type: none">●無線 LAN が正常に動作していても、ネットワーク設定ができていないとファイルの共有やプリンタの共有はできません。ネットワーク設定を正しく設定してください。 |
|----|---|

Web 設定画面が表示できない

- | | |
|----|---|
| 対処 | <ul style="list-style-type: none">●本製品とパソコンが正しく接続されているか確認してください。●管理用 IP アドレス、ユーザー名、パスワードが正しく入力されているか確認してください。●本製品とパソコンを再起動してください。 |
|----|---|

ユーザー名やパスワードなどを忘れた

- | | |
|----|--|
| 対処 | <ul style="list-style-type: none">●工場出荷状態から変更していない場合は、本製品の底面にあるラベルに記載されている各値が初期値です。●工場出荷状態から変更したユーザー名やパスワードなどを忘れてしまった場合は、本製品を初期化し工場出荷状態に戻してから、再度設定をやり直してください。(P.100 ページ「本製品の初期化」参照) |
|----|--|

6 付録

■ 仕様一覧

ハードウェア仕様			
項目	仕様		
光インターフェース	SC 光コネクタ、1ポート		
有線 LAN インター フェース	LAN1 ポート	100BASE-TX/1000BASE-T/2.5GBASE-T/5GBASE-T/10GBASE-T (RJ-45)、オートネゴシエーション	
	LAN2～4 ポート	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T (RJ-45)、オートネゴシエーション	
	TA ポート	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T (RJ-45)、オートネゴシエーション	
無線 LAN インター フェース	2.4GHz 帯	IEEE802.11n/IEEE802.11g/IEEE802.11b 2.4GHz～2.484GHz (1～13ch)	
		5GHz 帯	IEEE802.11n/IEEE802.11a/IEEE802.11ac W52: 5.15GHz～5.25GHz (36/40/44/48ch) W53: 5.25GHz～5.35GHz (52/56/60/64ch) W56: 5.47GHz～5.725GHz (100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch)
	アンテナ		2.4GHz 帯用：3本、5GHz 帯用：4本
	セキュリティ		「WEP (64bit)」、 「WEP (128bit)」、 「WPA2-PSK」、 「WPA/WPA2-PSK 共存モード」、 WPS、 Multiple SSID (8SSID)、 無線 SSID 非公開機能
	操作部	WPS	WPS 機能で無線 LAN 機器を登録する
		RESET	再起動用スイッチ (6秒以上の長押しで設定を初期化する)
機器仕様	筐体外観	縦置き型	
	電源	本体：DC12V 2.5A (ACアダプタにて供給)	
		ACアダプタ※：AC100V (50/60Hz)	
	消費電力	30W 以下	
	外形寸法	約 184 (W) × 65 (D) × 231 (H) mm (突起部分を除く)	
	質量	約 650g (ACアダプタ含まず)	
	環境条件	動作環境温度 / 湿度：0～40℃ / 5～95% (結露しないこと)	
		保管環境温度 / 湿度：-20～70℃ / 5～95% (結露しないこと)	
電磁妨害波 規格	VCCI クラス B		
	技術基準適合証明 (TELEC)		

※ 付属の AC アダプタ以外は絶対に使用しないでください。

GPL・LGPL について

本製品に格納されているプログラムには、GNU General Public License (GPL) (または GNU Lesser Public License (LGPL)) にもとづきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

本製品に格納されているプログラムで上記ライセンスが適用されるオープンソースソフトウェアのソースコードはご要望に応じて媒体提供いたします。ただし下記の点をあらかじめご了承ください。

- ソースコードの内容などについてのご質問には一切お答えできません。
- 提供されたソースコードにより作成されるプログラムについては一切の保証をいたしません。
- 媒体提供の際には別途実費を申し受ける場合があります。
- ソースコードの提供期間は本製品の生産打ち切り後、概ね 3 年とさせていただきます。

媒体提供を希望される場合は下記までお問い合わせください。

gpl-1908@info.sei.co.jp
株式会社ブロードネットマックス
GPL 関連窓口

MEMO

MEMO

2021年 3月 1日

B版発行 DEK2005B

発行  住友電気工業株式会社

〒108-0075 東京都港区港南4-1-8 リバージュ品川
